

東大阪市埋蔵文化財包蔵地調査概要29

東大阪市埋蔵文化財発掘調査概要

— 昭和62年度 —

1988・3

東大阪市教育委員会

東大阪市埋蔵文化財発掘調査概要

— 昭和62年度 —

花草山23・24号墳発掘調査
出雲井遺跡第4次発掘調査

1988・3

東大阪市教育委員会

は し が き

東大阪市が昭和42年に発足しまして、ちょうど20周年を迎えました。この間、市内に所在する埋蔵文化財包蔵地の数には、年々増加の一途をたどり、調査の度ごとに個々の遺跡の範囲が広がると共に、河内平野に所在した遺跡群の実態も詳しくわかってまいりました。

こうした調査のきっかけの大半は、本市が衛星都市としての性格をかかえる中で進められてきた住宅建設の他土木建築工事に伴うもので、遺跡範囲の拡大も相まって、遺跡内での工事届出件数は、近年一層の増加をたどっております。

昭和62年度におきましては、既に396件の届出と調査依頼があり、遺跡の調査保存について協議を進めてきましたが、この内、本年度は国庫及び府費の補助を受けた「埋蔵文化財緊急発掘調査事業」の対象として、生駒山麓の花草山23・24号墳と出雲井遺跡の2件の発掘調査を実施いたしました。

出雲井遺跡の調査では、若干の出土遺物を検出したにとどまりましたが、花草山23・24号墳は、新たに発見した古墳で、調査により比較的狭長な小型の横穴式石室の下半部が遺存し、埋葬状況を知ることが出来ました。

調査の実施あるいは報告書の作成にあたってご協力を受けました関係各位には、心よりお礼を申し上げますと共に、本書が広く活用されることを願うものであります。

昭和63年3月

東大阪市教育委員会
教育長 木 寺 宏

例 言

1. 本書は、東大阪市教育委員会が昭和62年度に国庫ならびに府費の補助を受け、発掘調査を実施した花草山23・24号墳及び出雲井遺跡第4次発掘調査報告書である。

2. 各遺跡の現場調査期間は、次のとおりである。

花草山23・24号墳発掘調査 昭和62年5月6日～6月23日

出雲井遺跡第4次発掘調査 昭和62年7月28日～8月4日

3. 調査関係者及び調査担当者は、次のとおりである。

社会教育部参事 寺澤 勝

文化財課主査 原田 修・富山三郎

同 課 主任 下村晴文

同 課 福永信雄

同 課 芋本隆裕（出雲井遺跡第4次調査担当）

同 課 吉村博恵（花草山23・24号墳調査担当）

4. 本書の執筆は、それぞれの担当者があたり、文責は本文目次に明記した。

5. 花草山23号墳出土の人骨の鑑定は、大阪市立大学医学部解剖学第2講座、多賀谷昭氏のご協力をいただき、原稿を賜った。また動物遺体については同講座、安部みき子氏より教示を得た。

6. 調査における土色・色調は、農林水産技術会議事務局監修、財団法人日本色彩研究所色票監修の『新版標準土色帳』にもとづき、記号の表示もそれに従った。

7. 現場調査の実施にあたっては、下記の方々のご協力をいただいた。明記してお礼を申し上げます。（順不同、敬称略）

日昭興産株式会社、西尾建築設計事務所、今村建郎、旭化成ホームズ株式会社

目 次

| | |
|-----------------------|----|
| はじめに | 1 |
| 第1章 調査に至る経過 | 2 |
| 第2章 花草山23・24号墳発掘調査 | 4 |
| 1. 遺跡の概要 (吉村) | 4 |
| 2. 層位 (") | 5 |
| 3. 上層の遺構と遺物 (") | 5 |
| 4. 第23号墳 (") | 7 |
| a. 墳丘と墓壇 (") | 7 |
| b. 石室 (") | 8 |
| c. 再利用時の検出状況と遺物 (") | 10 |
| d. 床面上の検出状況と遺物 (") | 11 |
| e. 出土人骨 (多賀谷) | 15 |
| f. 墳丘出土の甕 (吉村) | 17 |
| 5. 第24号墳 (") | 18 |
| 6. まとめ (") | 19 |
| 第3章 出雲井遺跡第4次発掘調査 (芋本) | 21 |
| 1. 遺跡の概要 | 21 |
| 2. 調査の結果 | 22 |
| 3. まとめ | 23 |

図版目次

- 図版 1 花草山23号墳遺構 1. 試掘調査時の状況
2. 調査地全景（北より）
- 図版 2 花草山23号墳遺構 1. 調査地全景（東より）
2. 石室全景（北西より）
- 図版 3 花草山23号墳遺構 1. 石室全景（入口側より）
2. 石室全景（奥壁側より）
- 図版 4 花草山23号墳遺構 1. 石室奥壁
2. 石室右側壁（部分）
- 図版 5 花草山23号墳遺構 1. 石室左側壁（部分）
2. 再利用時の閉塞石
- 図版 6 花草山23号墳遺構 1. 床面遺物出土状況
2. 床面遺物出土状況（部分）
- 図版 7 花草山23号墳遺構 1. 棺台および遺物出土状況（第Ⅰ群）
2. 人骨検出状況（第Ⅰ群）
- 図版 8 花草山23号墳遺構 1. 遺物出土状況（第Ⅱ群）
2. 遺物出土状況（第Ⅳ群）
- 図版 9 花草山23号墳遺構 1. 再利用時の検出状況（1）
2. 再利用時の検出状況（2）
- 図版10 花草山23号墳遺構 1. 甕出土状況（1）
2. 甕出土状況（2）
- 図版11 花草山24号墳遺構 1. 遺物出土状況
2. 敷石検出状況
- 図版12 花草山23号墳遺物
- 図版13 花草山23号墳遺物
- 図版14 花草山23・24号墳遺物
- 図版15 出雲井遺跡第4次調査遺構 1. 調査前の状況
2. 第2層下面調査風景
- 図版16 出雲井遺跡第4次調査遺構・遺物 1. 第3層下面全景
2. 出土遺物

挿図目次

| | | |
|------|----------------------|----|
| 第1図 | 遺跡周辺図 (1/20,000) | 3 |
| 第2図 | 古墳分布図 (1/5,000) | 4 |
| 第3図 | 層位図 (1) (1/40) | 5 |
| 第4図 | 包含層内出土遺物 | 5 |
| 第5図 | トレンチ位置図 (1/200) | 6 |
| 第6図 | 層位図 (2) (1/40) | 7 |
| 第7図 | 石室上面図 (1/40) | 8 |
| 第8図 | 石室全体図 (1/40) | 9 |
| 第9図 | 再利用時の検出状況 (1/20) | 10 |
| 第10図 | 再利用時の閉塞石 (1/40) | 11 |
| 第11図 | 再利用時以降の土器 | 11 |
| 第12図 | 床面遺物出土状況 (1/20) | 折込 |
| 第13図 | 石室床面出土土器 | 13 |
| 第14図 | 石室床面出土鉄製品 | 14 |
| 第15図 | 石室出土人骨 | 16 |
| 第16図 | 墳丘出土の甕実測図 (1/6) | 17 |
| 第17図 | 甕実測図 | 17 |
| 第18図 | 敷石遺構 (1/10) | 18 |
| 第19図 | 敷石遺構出土土器 | 19 |
| 第20図 | 古墳の分布と調査地点 (1/5,000) | 21 |
| 第21図 | 調査地北壁断面図 (1/20) | 22 |
| 第22図 | 調査地位置図 (1/300) | 22 |
| 第23図 | 出土遺物 | 23 |

表 目 次

| | |
|------------------------|-------|
| 昭和62年度市域調査（予定）一覧表..... | 24～40 |
|------------------------|-------|

はじめに

東大阪市は、地形的にみると河内平野部、生駒山地山麓部・山岳部の3つに大別される。平野部には、弥生時代以降の遺跡、山麓部には旧石器時代から中世にいたる遺跡、山岳部には古墳や平安時代以降の山岳寺院などが存在している。これら周知の遺跡（埋蔵文化財包蔵地）は現在 124ヶ所の存在を確認しているが、特に居住域として最適な山麓部に分布密度が濃いのが特徴である。

昭和62年度における市域の埋蔵文化財包蔵地（以下、遺跡という）での土木、建設工事は過去最高であった。これらの工事は市域全体で行なわれている。特に従前あまり開発のなかった山岳部にも宅地開発が目立ちつつある。文化財保護法第57条の2・3に基づく届出、通知件数は、396件（昭和63年2月末現在）で、去年（311件）と比べて85件増加している。この原因は、内需拡大政策の浸透による住宅建設等や相続税対策による共同住宅建設の増加などが考えられる。

発掘届（356件）、通知（40件）に基づく指示の内訳は、発掘調査 236件、立合調査 149件、慎重工事11件である。個々については、別表の市域調査一覧表を参照されたい。届出の工事別内訳は、住宅建設 292件、工場、倉庫建設26件、ビル事務所建設21件、下水道、河川工事17件、道路敷設、改良工事 1件、水道管埋設工事16件、電気工事 2件、ガス、電話工事 1件、校舎建設 6件、その他13件である。

本市においては、遺跡外であっても工事中に新たな遺跡の不時発見となることを極力避けるため、開発協議に係る 500㎡以上の開発に対しては、工事場所、建造物の掘削深度、建築面積を考慮の上、必要と思われる場合には、試掘依頼書の提出を求めて、調査を実施するよう指導している。また、不動産の売買や開発に先立って遺跡内、外を問わず試掘調査依頼を受けて調査を実施する事が増加してきている。特に遺跡内の開発に先立って試掘調査を実施した後、その結果を基に埋蔵文化財に影響を及ぼさないよう開発計画を決定するケースが多くなりつつある。これらの試掘依頼（別表中、※印の分）は、2月末現在60件である。試掘依頼を受けて実施した調査では、市尻遺跡（No. 238）の発見や、周知していた遺跡の範囲がさらに広がる事が判明している。

指示に基づき行なった発掘調査や立合調査あるいは試掘依頼を受けて実施した調査などで、埋蔵文化財を検出した場合、努めて盛土や基礎掘削の深さなどの設計変更を指導しているが、工事の関係で止むを得ずいわゆる発掘調査となったものが22件あった。この件数も過去最高であるが、届出や通知の増加に比例していることは明らかである。

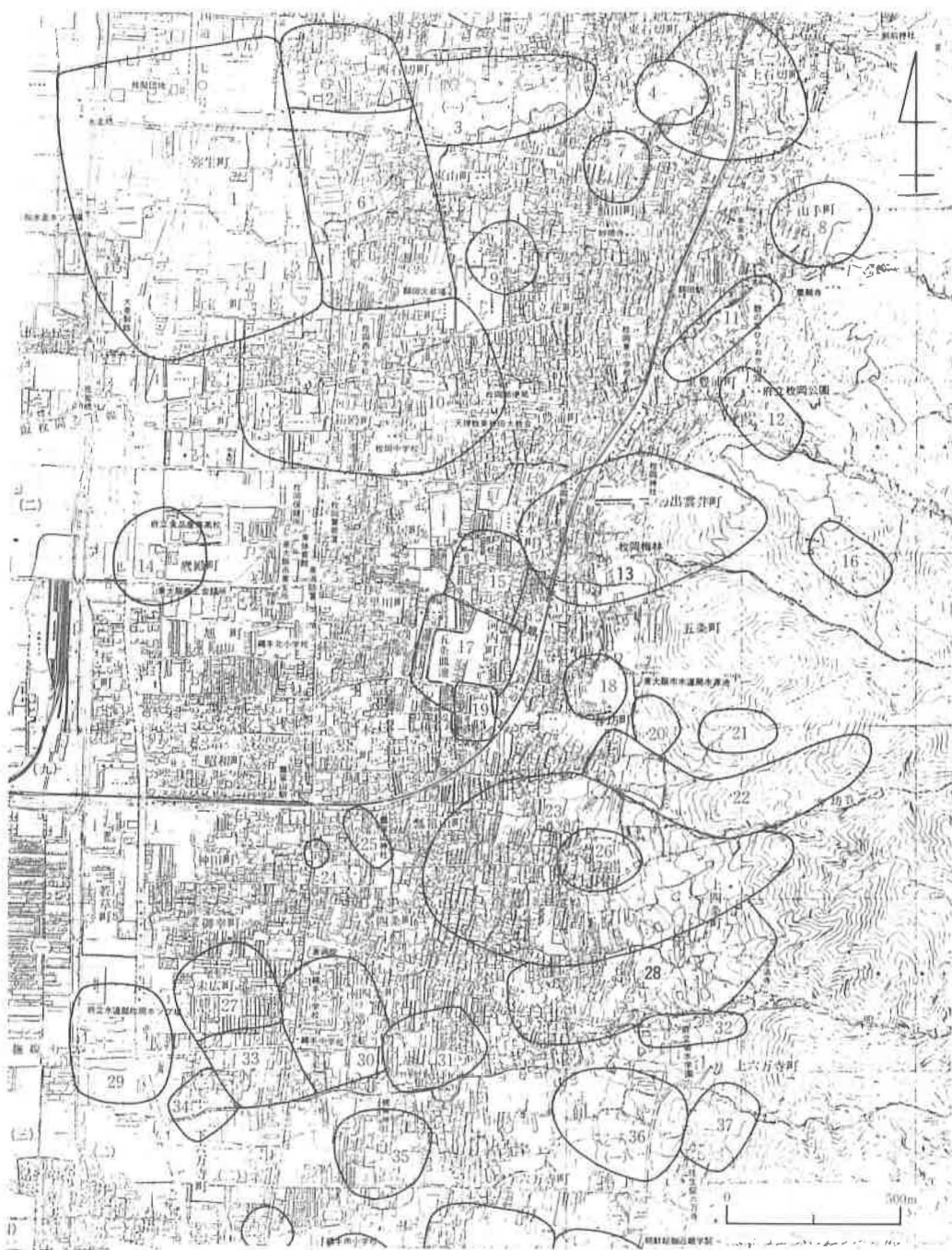
今回報告する国および府費の補助を得て実施した出雲井遺跡（No. 149）、花草山23・24号墳の調査もこのうちの2件である。個々の調査については、報文によられたいが、東大阪の原始・古代を知る上で多くの資料を得ることができた。

第1章 調査に至る経過

東大阪市の東部は標高600~400mの山々が連なる生駒山地が南北に走り、奈良県と境を接している。その山頂付近から山麓部に亘る地域には旧石器時代から近世に至る数多くの遺跡が点在しており、人々が古くから住み続けていたことを物語っている。旧石器時代の遺跡としては標高約80m前後に位置する芝坊主山、正興寺山、山畑遺跡があり、ナイフブレードを採取している。縄文時代になると有舌尖頭器を表採した草創期の草香山遺跡、早期の押型文土器が出土した日下、神並遺跡がある。とくに神並遺跡では第11次調査で集石土坑などを確認している。前期では鬼虎川遺跡において北白川下層の土器と当時の海岸線を検出し、中期は善根寺、日下、鬼虎川遺跡で少量の土器が出土しているだけである。後期以降になると遺跡は増え、日下、芝ヶ丘、鬼塚、縄手、馬場川遺跡などがあり、多量の遺物・遺構を検出している。これまで日下遺跡では33体におよぶ晩期の人骨―土壙墓―が出土している。弥生時代になると遺跡は平野部へ移行し、鬼虎川、瓜生堂、山賀遺跡などがある。鬼虎川遺跡では前期から中期にかけての貝塚、中期の環濠・方形周溝墓などを確認しており、かなり大きな集落を形成していたと考えられる。古墳時代には西岩田、山賀遺跡などで前期の集落がみられるが、この時期の古墳は認められていない。ただ、石切劔箭神社に銅鏡、環頭大刀、碧玉製品が保管されており、前期古墳の存在を示唆するものと言われている。後期以降は芝ヶ丘、神並、鬼塚、市尻、西ノ口遺跡などで掘立柱建物群が見られ、山麓部を中心に数多くの古墳が築造されている。50~30mを測る瓢箪山古墳、芝山古墳などもあるが、ほとんどは10~20m前後の小古墳であり、山畑古墳群、出雲井古墳群、花草山古墳群などの群集墳を形成している。奈良時代以降中世に亘る遺跡としては神並、西ノ辻、水走、若江遺跡などがある。神並遺跡は「神並庄」としての庄園との関り、水走遺跡は環濠をもつ集落遺跡であり水走氏の開発―「水走文書」―との関係、若江遺跡は河内の守護所としての若江城の存在など文献史料を裏付ける資料を検出している。

1. 花草山23・24号墳 発掘調査は、昭和62年3月10~18日に行われた、住宅建設に先立つ試掘調査を受けて実施したものである。試掘調査では4ヶ所(A~D地区)のトレンチを設定して調査した。その結果、A、B、Dトレンチでは数点の土器片が出土したのみであったが、Cトレンチにおいては大甕、杯などの須恵器片とともに石室を検出し、古墳の存在を確認した。それにより、本古墳を花草山23号墳と名付け、石室部分を中心に調査を実施した。調査の進展とともに、23号墳の東南方向に敷石遺構(24号墳)を検出した。調査は昭和62年5月6日から6月23日まで実施した。

2. 出雲井遺跡第4次調査 調査は第3次調査地の西約50mの地点で、個人住宅の建設が計画されたのに伴って実施した。住宅予定地は棚田状の平坦地であるが、第3次調査の際に棚田の下に埋れた古墳が知られたこと、試掘調査のときに地山の高まりを検出し、古墳の盛土である可能性が否定しきれなかったこと、中世末~近世初めの土器片が少量ながらも出土したことなどから調査を実施するに至った。調査は昭和62年7月28日から8月4日まで実施した。



1. 鬼虎川遺跡 2. 植附遺跡 3. 神並遺跡 4. 正興寺山遺跡 5. 神並古墳群 6. 西ノ辻遺跡 7. 若宮古墳群
8. 額田山古墳群 9. 額田寺跡 10. 鬼塚遺跡 11. みかん山古墳群 12. 豊浦谷古墳群 13. 出雲井遺跡 14. 鶴立遺跡
15. 孤塚遺跡 16. 神津嶽祭祀遺跡 17. 血池遺跡 18. 五条古墳 19. 河内寺跡 20. 客坊山廃寺 21. 五条山古墳群
22. 客坊山古墳群 23. 山畑古墳群 24. 市尻遺跡 25. 瓢箪山古墳 26. 山畑遺跡 27. 五合田遺跡 28. 花草山古墳群
29. 北鳥池遺跡 30. 縄手遺跡 31. 上六万寺遺跡 32. 五里山古墳群 33. 段上遺跡 34. 下六万寺遺跡 35. 船山遺跡
36. 若滝山遺跡 37. 往生院金堂跡

第1図 遺跡周辺図(1/20000)

第2章 花草山23・24号墳発掘調査

1. 遺跡の概要

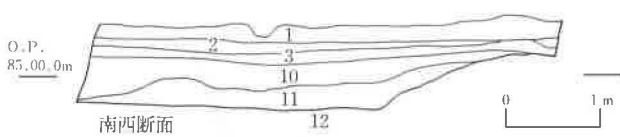
花草山古墳群は東大阪市上四条町に分布する古墳時代後期の群集墳である。北には花草谷を境として東大阪市最大の群集墳・山畑古墳群、南には鳴川谷を界として五里山古墳群が隣接している。古墳群は標高 140mの尾根上より60mの扇状地域の上に24基の古墳を確認しており、その分布状態などから3支群より構成されていると考えられる。南の第1支群は標高 120mにある1号墳から大池公園の東に位置する8号墳へと続いている。第2支群は標高 140mにあった9号墳から13号墳へと続く。そして14号墳から標高 100mにある20号墳に至る7基よりなる第3支群とに分かれている。今回報告する23・24号墳は13号墳の東20mに位置し、第2支群に存することになる。

24基のうち完存するのは4基のみで、7基は半壊状態であり、14基は消滅している。古墳のほとんどは石室を伴い、8～15mの円墳または方墳で構成されている。これまで、本古墳群の本格的な調査はなく、『河内四條史』⁽¹⁾などに一部紹介されているだけである。完存する4基のうち15号墳は横穴式石室をもつ径15m、高さ3mの円墳である。石室は幅1.9m以上、長さ4.2mの玄室、幅1.7m、長さ4.0mの羨道を有する左片袖式で、羨道部に宝暦13年(1763)の銘をもつ経塚として使用された石塔があることから、経塚古墳と呼ばれている。16号墳は鉢伏古墳とも称される東西・南北13m、高さ3.5mの方墳または円墳であり、玄室の奥壁幅1.9m、長さ4.9m、羨道幅1.7m、長さ3.9mの横穴式石室を有している。このように現存する古墳は少なく、各古墳の築造時期を知る明確な資料も乏しく、本古墳群の形成期間を限定することは難しい。

註(1) 荻田昭次・藤井直正編 「考古資料」 『河内四條史 第二冊 史料編I』 1977年



第2図 古墳分布図 (1/5000)



- 1. オリーブ黒色粘質土 (7.5Y 3/2)
- 2. 橙色粘質土 (7.5Y R 7/8)
- 3. 黄橙色粘質土 (10Y R 7/8)
- 10. 明黄褐色砂礫土 (2.5Y 6/6)
- 11. 暗オリーブ色砂礫土 (7.5Y 4/3)
- 12. 明黄褐色砂礫土 (2.5Y 6/8)

第3図 層位図(1) (1/40)

2. 層位

調査地は近年まで水田であり、周辺部を含め12～5 m幅の不定形の棚田が形成されていた。調査時には荒地となっていて、耕土は東南地域で確認したのみであった。

- 第1層 オリーブ黒色粘質土(7.5Y 3/2) 耕土。
- 第2層 橙色粘質土 (7.5Y R 6/8) 細粒砂を含み、下部灰褐色土 (7.5Y R 5/2) 混る。
- 第3層 黄橙色粘質土 (10Y R 7/8) 細・中粒砂を多く含み、土師器、瓦器、黒色土器、須恵器などの小片多く出土。
- 第10層 明黄褐色砂礫土 (2.5Y 6/6) 石塊を多く含む。
- 第11層 暗オリーブ色砂礫土(7.5Y 4/3)
- 第12層 明黄褐色砂礫土 (2.5Y 6/8)

第4・5層は23号墳に伴う盛土で、第6～8層は同墳の墓壇内の埋土であり、23号墳の墳丘の項で詳述する。

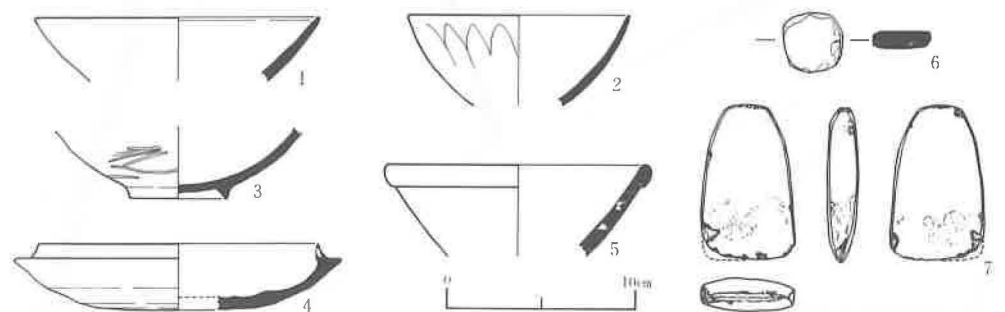
3. 上層の遺構と遺物

調査地の南部分では近世以降の水田形成に伴う石組列、西北部分では土留めに伴うと考えられる近代以降の石群を検出した。石群内からは須恵器大甕片、黒色土器1、青磁碗⁽¹⁾2、瓦器碗3、土師器片、石器7とともにウマの歯、イノシシまたはブタの骨などの動物遺体が出土した。石群の石は砕礫がほとんどであったが、23号墳の天井石や側壁の石も利用されていた。

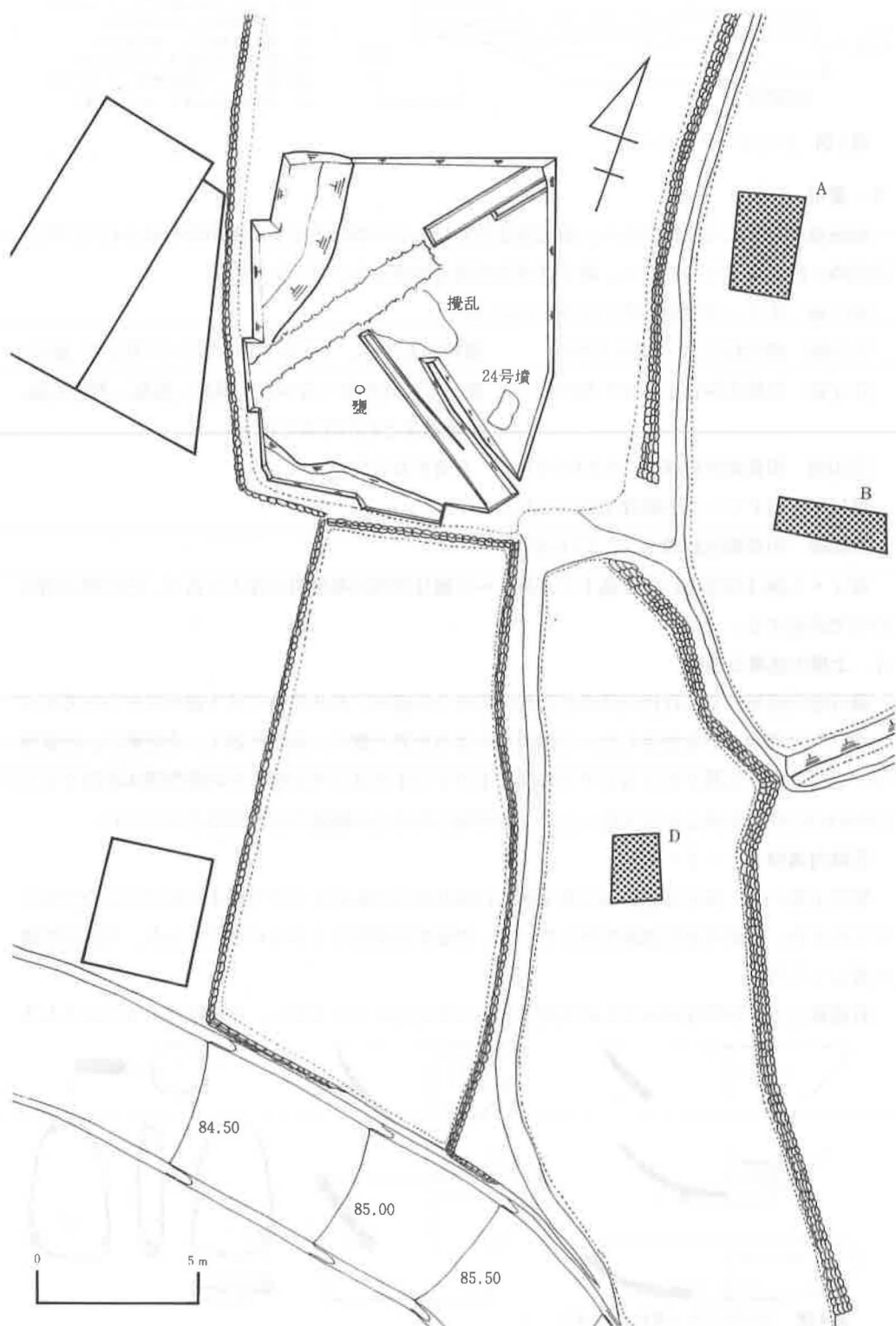
石群内遺物 (1～3・7)

黒色土器(1) 復元口径15cmを測る碗。口縁端部は回転のヨコナデにより引き出しやや尖らせておさめ、端部内面に沈線を施している。内面には緻密なミガキが見られるが、外面は磨滅が著しく不明。

青磁碗(2) 体部はゆるやかに内弯しながら外上方に立ち上がり、口縁端部をやや丸くおさ



第4図 包含層内出土遺物 (1/40)



第5図 トレンチ位置図 (1/200)

めている。体部外面には少し細身の蓮弁文様が見られ、1.2~0.5mmの釉を全面に施しており、磁胎は灰白色を呈する。龍泉窯。

瓦器椀(3) 断面三角形のやや高い高台を有し、体部はゆるやかに内弯しながら外上方に立ち上がる。体部外面はユビオサエののち粗いヘラミガキが施されているが、内面は磨滅が著しく調整不明。

磨製石斧(7) 蛇紋岩製の扁平刃石斧。頂部幅2.5cm、刃部幅4.5cmの裾広がり、横断面はふくらみをもつ長方形を呈す。全面、丁寧に研磨されており、頂部は敲打による裂痕、刃部は使用による剝離と磨耗が見られる。

第3層内遺物(4・5・6)

須恵器杯身(4) たちあがりは内傾して短かく立ち、端部を尖くつまみあげている。受部はやや外上方にのび、先端部を丸く仕上げている。底部はやや扁平で、器高は高くない。底部外面2/3は左まわりのロクロによる回転ヘラケズリ調整している。

白磁碗(5) 体部はゆるやかに内弯しながら外上方へ立ち上がる。口縁部はやや幅広の玉縁状を呈し、端部を丸くおさめている。釉は0.3~0.5mmと薄く全面に施されており、磁胎は灰白色である。

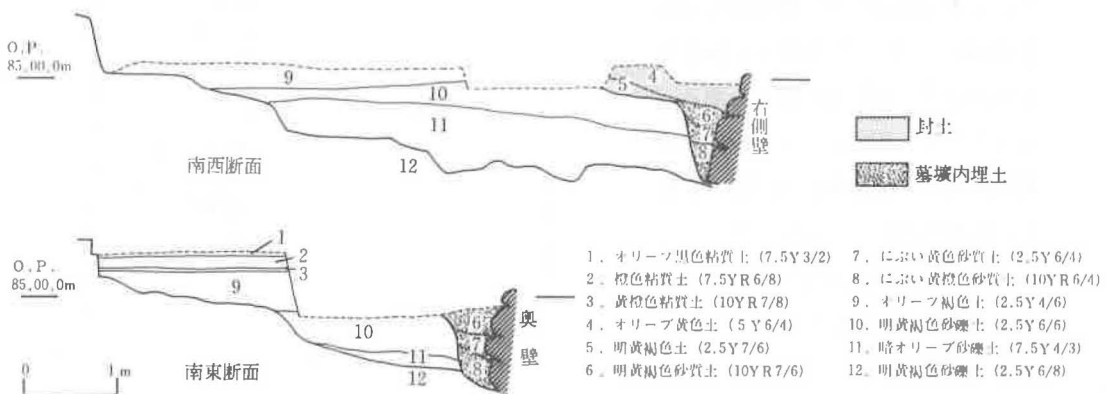
円盤形瓦製品(6) 径3cm、厚さ1cmのやや隅丸方形に近い円形を呈する。いぶし瓦を使用し、周縁部はやや細かく打ち欠いたのち削って整形している。いずれの面も磨滅が著しく、1面の一部は欠損している。

註(1) 安部みき子氏(大阪市立大学医学部解剖学第2講座)より教示を得た。

4. 第23号墳

a. 墳丘と墓壇

墳丘は後世の削平などにより、その遺存状態は極めて悪い。西は現代の水田に伴う石垣、北西側は近代以降の土留め工事により、石室付近まで削り取られていて、盛土はまったく確認することができなかった。また、調査地が近年まで水田であったことから、上部はほとんど削平されて平坦になっていた。近世初期の整地層である第3層を取り除くと、古墳築造前の層一石



第6図 層位図(2) (1/40)

室墓墳掘削面である第9・10層がほぼ全面に広がっていて、封土である第4・5層は石室周辺部とその東南地域で1部検出しただけであった。また、古墳に伴う溝もなく、墳丘の墳形および正確な規模を知ることはできなかった。

古墳は東から西へのびるゆるやかな傾斜面を利用して築かれていた。古墳築造前にはすでに、地山（第12層）上面に3層の堆積層（第9～11層）があった。第10・11層は無遺物層で、石塊・礫を多量に含み、自然の堆積と考えられる。第9層は23・24号墳の築造面で、墓墳の掘削面をなしており、須恵器の小片、サヌカイト片などを含み、人為的な層と思われる。古墳封土は、

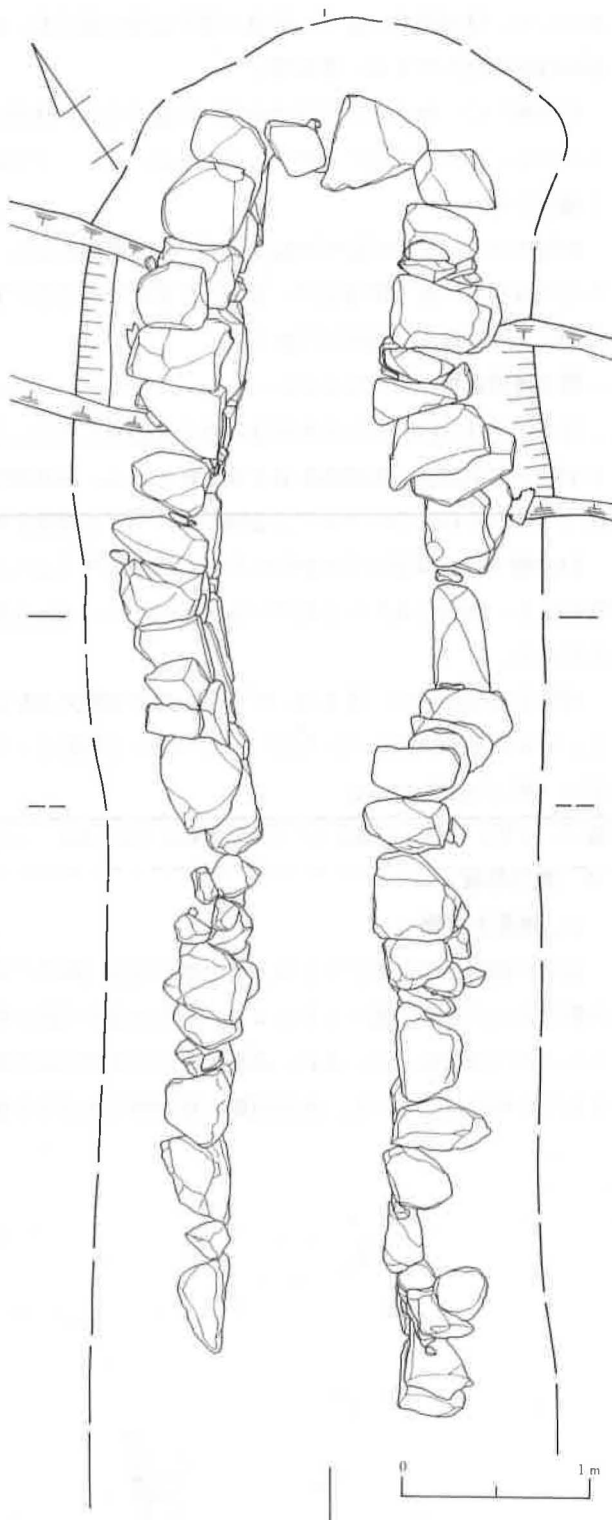
第4層 オリーブ黄色土(5Y6/4)
小礫、粗・中粒砂を含む。

第5層 明黄褐色土(2.5Y7/6)
灰オリーブ色土(7.5Y5/2)混る。
だけが残存していて、石室東南部の第4層上面で埋め立てられた小型の甕を検出した。

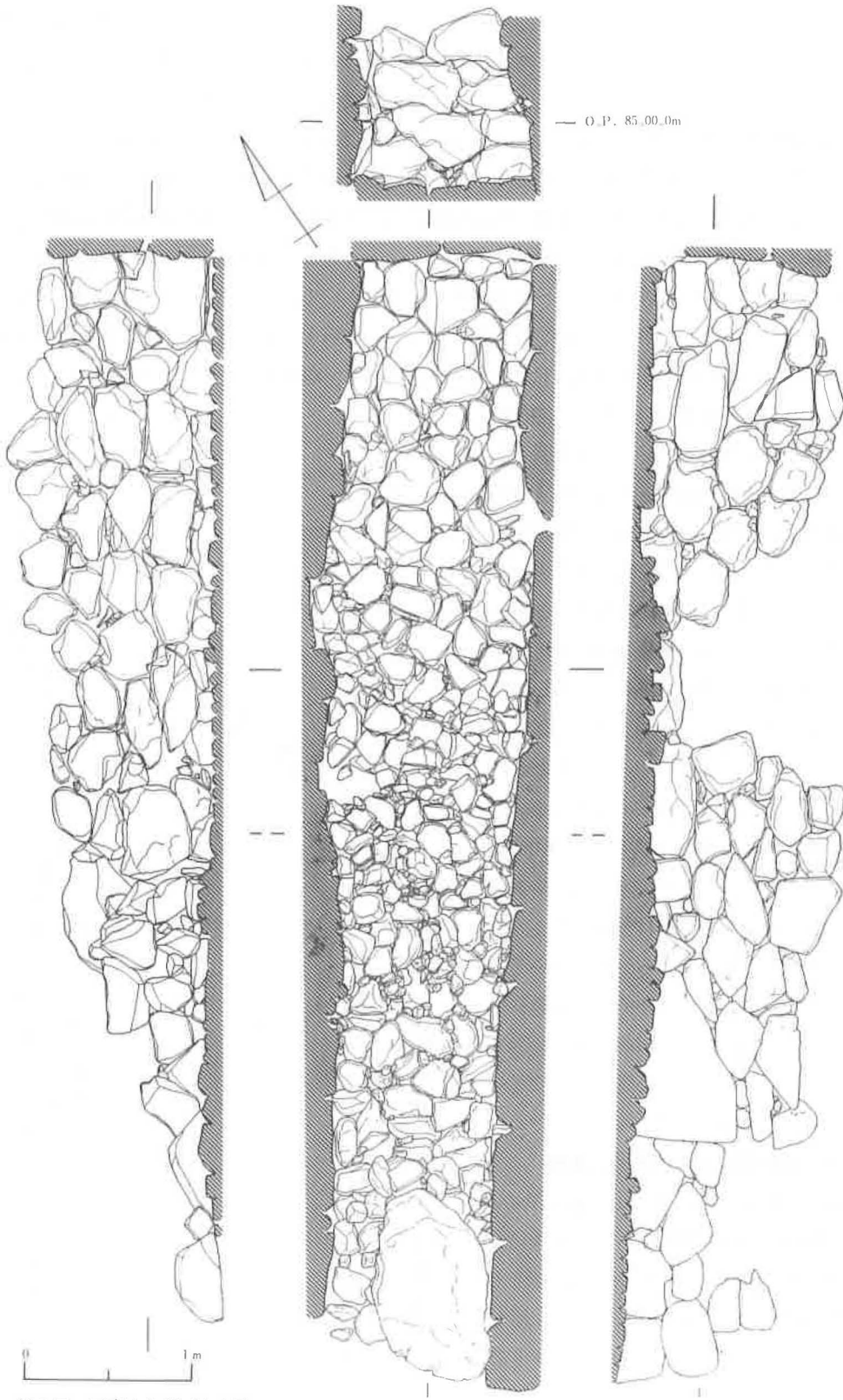
石室墓墳は第9・10層上面およびトレンチで確認した。検出面での幅2.5m前後、長さ7.5m以上、深さ東側80cm以上、西側60cm以上を測る。石室の奥壁・側壁の2～3段分が墓墳内となり、裏込めの土はほぼ1段ごとに層をなしているが、ほとんど礫、粗・中粒砂混りの土（第6～8層）で構成されていた。

b. 石室

主体部は、主軸が N-35°-E方向



第7図 石室上面図(1/40)



第8图 石室全体图 (1/40)

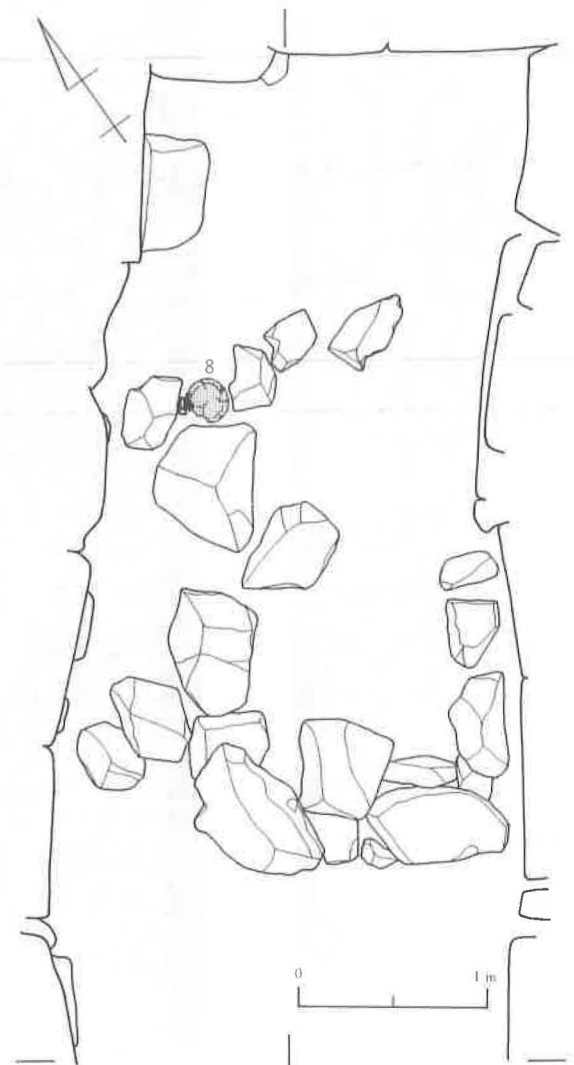
の無袖の横穴式石室である。石室の遺存状態はあまりよくなく、天井石、側壁・奥壁の上段部はほとんど欠損していた。右側壁の中央部は攪乱により大きく崩されており、入口部には天井石の1つが落ち込んでいた。しかし、基底部分は良好な状態で残存していた。

石室の規模は奥壁の幅1.05m、中央部の幅1.3m、入口部の幅0.95mで、全長6.8mを測り、左側壁が中央部でややふくらみをもって広がっている。奥壁は4段が残っており、1段目は左右にはほぼ同規模の石を置き、2段目はその谷間に合った底面V字形の幅約70cmの石を据え、その両横に1石づつ置いて3石より構成している。3・4段は2石づつであり、各石のすき間には詰石を施している。左側壁は5～1段が残存していた。1段目は幅20～60cmの石を、平坦面を内側にして立てならべているが、中央部は20～40cmの石と詰石が見られる。2段目以上も幅50cm前後の石をかみ合わせるようにして積み上げており、中央部よりやや入口側のところには20～30cm大の石が多く見られる。右側壁も5～1段が残存していた。1段目は幅60～100cmの石を置き、2段目以上の石を積み上げている。左側壁と同様中央部により小さい石が多く、積み上げ方も乱雑である。以上、石材の重なり、詰石の状態などから石室の構築順序を考えると、奥壁材を置き、側壁は奥壁部・入口部の両側より据えてゆき、中央付近で調整しながら順次積み重ねていったと思われる。

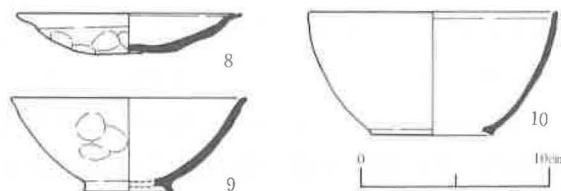
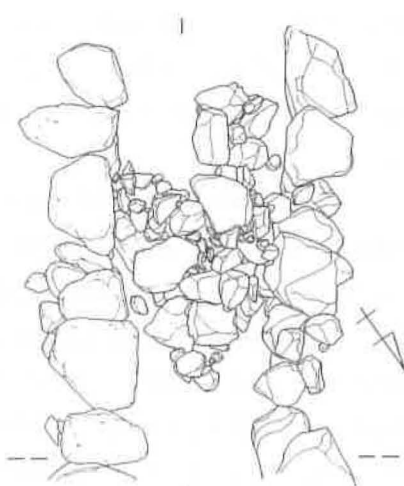
石室床面は40～15cm大の自然石を、平坦面を上にして敷きつめている。奥壁側・入口側の石に比べて中央部の石は小さいものが多い。このことは敷石の敷き方も、奥壁・入口部の両方から行き、中央部で調整していることがわかる。床面敷石の上面は左右側壁の1段目の中・上段部まで達っており、敷石を敷くうえで厚く土を入れ、上面を平坦に仕上げている。

c. 再利用時の検出状況と遺物

石室の埋土—褐色砂混り土(10Y R4/4)
—上層内からは瓦器碗9、黒色土器10などの小片が数片出土した。その上層埋土を取り除くと、奥壁近くにおいて石組を検出した。石組は敷石上約10cmの埋土の



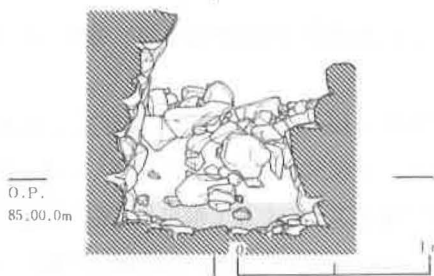
第9図 再利用時の検出状況(1/20)



第11図 再利用時以降の土器

上に、40~15cm大の石を右側壁に沿って短辺0.85m、長辺1.5mの長方形に組まれていた。入口側の短辺は後述する第2次埋葬時の石組（棺台）の石列上にはほぼ平行して、大小4石の石を面をそろえて置いてあった。右長辺奥側の石はなく、奥壁側左角部には土師器の中皿8が置かれていた。この石組は棺台として使用されていたと考えられる。

この時期、入口部には5~30cm大の石および土で閉塞していた。閉塞石の下には約10cmの埋土-黄褐色砂混り土(2.5Y5/6)-があり、敷石上面からは人骨片、鉄器、須恵器（床面出土遺物第IV群の一部-後述-）が出土した。その埋土の上に奥壁側から階段状に石材を積み上げて土を詰めており、その中から黒色土器の小片を検出した。



第10図 再利用時の閉塞石 (1/40)

土師器中皿(8) やや丸みをもって凹ませた底部より、体部は内湾しながら立ち上がり、口縁部は強いヨコナデによって段をなし、外方向に水平ぎみに広がり、端部を丸くおさめている。底・体部外面はユビオサエ、口縁部内外面はヨコナデ、内面はナデによって調整している。体部外面の一部にはススが附着しており、内面底部部分は黒ずんでいる。

瓦器碗(9) 断面三角形のやや高い高台を有す。体部は内湾しながら外上方に立ち上がり、口縁部は強いヨコナデにより少し外へ広き、端部をやや尖らせている。焼成があまりうえに磨滅が著しく調整は不明である。

黒色土器(10) 復元口径12cmの碗である。断面三角形の高台を有し、体部は内湾しながら外上方へやや強く立ち上がり、端部を少し尖らせている。端部内面に沈線を施している。内外面とも緻密なヘラミガキで仕上げている。磨耗が著しい。

d. 床面上の検出状況と遺物

床面上の遺物などは、後世の利用および破壊を受けてはいても、比較的良好な遺存状態であったといえる。床面は全面にわたり石が敷かれてあり、奥壁側右寄りに棺台と考えられる石列があった。棺台は40~10cm大の石を使用して、奥壁から右側壁に沿って置かれており、入口側の短辺は3石を接して一列に並べ、右側壁側の長辺は側壁に接して奥壁面まで4石を不等間隔に置いていた。左側壁側の長辺は側壁から40~10cm離れ、入口側短辺より5石を接して並べ、

さらに2石をやや広げ間隔をあけて置いていた。短辺0.8~0.9m、長さ2.0mを測る。石は平坦面を上にしており、床面からの高さはそれぞれ異なるが、上面および上端部はO.P.84、25m前後でそろえていた。棺台は、右側壁側の石の下より鉄製品(28)を検出したことなどから、第2埋葬(追葬)時に据えられたものと考えられる。

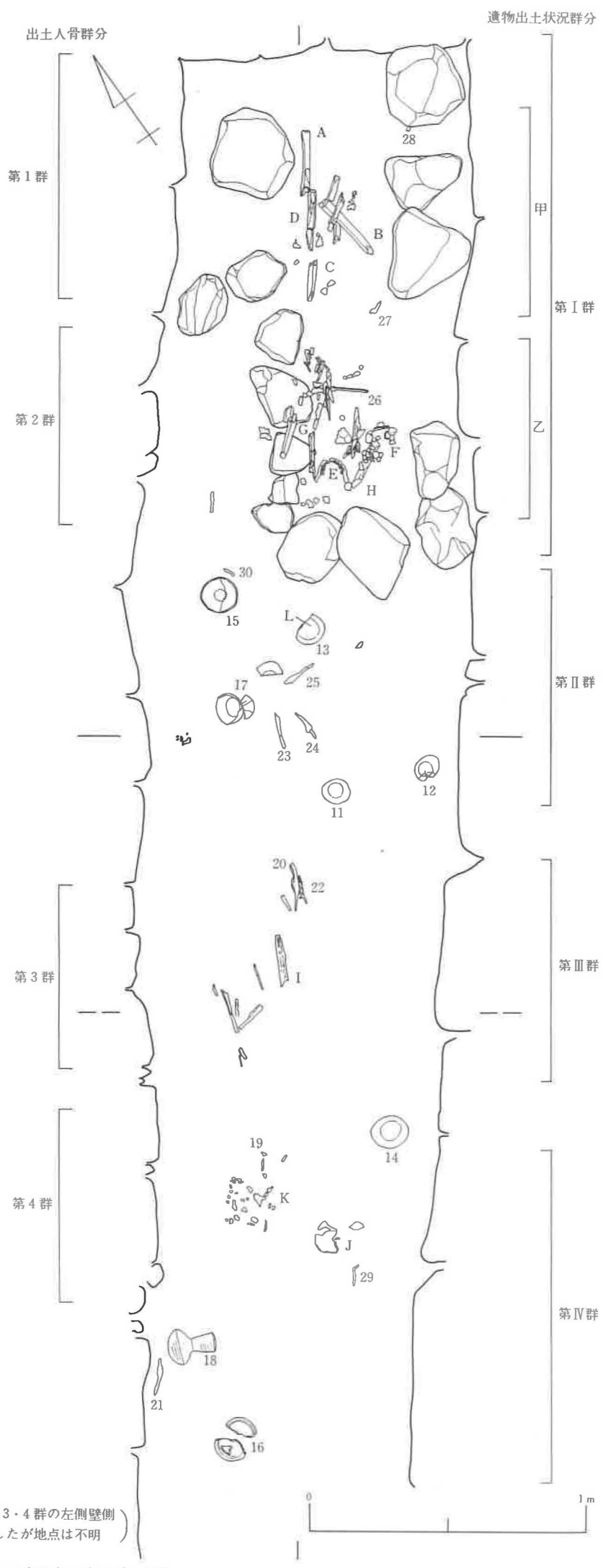
遺物はそれほど多くないが、床面全域にわたって検出した。出土地点から、棺台部(第I群)、棺台隣接部(第II群)、中央部(第III群)、入口側部(第IV群)の4ヶ所に大別することができる。第I群は棺台部で、人骨、鉄製品と炭が出土し、その状況からさらに2群(甲群・乙群)に細別することができる。遺物の遺存状態は極めて悪い。甲群(奥壁側)からは成人男性の左右の大腿骨A・Bと、右上腕骨D、成人女性の右大腿骨Cなどの人骨と鉄鏃27、刀子28などの鉄製品が出土した。乙群からは壮年後半(30代)の頭蓋骨F、下顎骨E、左脛骨G、右脛骨Hなどの多数の人骨と鉄鏃28と刀子、かすがいと思われる鉄製品が出土した。甲・乙群の骨はCを除き1個体分と考えられるが、頭蓋骨と下顎骨が離れ、これらの下から脛骨が出土していることなど、2次的に移動している。別個体であるCは、再利用時の棺台がほぼ同一場所の上部にあったことから、その時のものとも考えられる。

第II群は棺台の隣接地域であり、土師器(椀15、杯身11・12・13)、須恵器(高杯17)、鉄製品(鏃23・24・25、不明鉄器30)と若干の骨を検出した。骨は検出面が床面より高く、遺存状態も極めて悪く小片化していた。須恵器高杯と鉄製品は床面よりやや上で検出しており、移動した可能性が大きい。それに対し、土師器類はほぼ床面に接していたこと、石を置いて据えられていたことから、原位置を保っていたと考えられる。椀15はこぶし大の石3個を床面上に置き、その中に据えられてあり、杯身11・12はこぶし大の石を置き、底を斜め上に向けてそれにもたせかけていた。杯身13は一部欠損していたが、床面に接して置かれてあり、その中より上顎の右中切歯Iを検出した。第III群は石室中央部で、鉄製品(鏃20・22)と骨を検出した。いづれも床面より少し浮いた状態で出土し、原位置は全く保っていなかった。骨は遺存状態がかなり悪く、成人男性の左脛骨Iを確認したが、他は不明である。第IV群は最も入口側に位置し、ほとんどが再利用時に構築された閉塞石の下に埋れていた。この群からは須恵器(杯蓋14・杯身16・長頸壺18)、鉄製品(鏃19・21、かすがい29など)と骨が出土しており、全く原位置を保っていなかった。骨は2次的に移動しているとともに遺存状態が極めて悪く、小片化しているものが多い。ただ、20才前後(性別不明)の頭蓋骨J・7本の歯Kと別個体の2本の歯を確認した。また、第III・IV群の左側壁側埋土内から小児(12~15才)の歯3本が出土した。

以上、検出状況とのちに詳述する遺物などから見て、床面上での埋葬は3回は行なわれたと思われる。第III・第IV群と第I群の刀子などが第1埋葬時の遺物で、追葬(第2埋葬)時に入口方向などに移動させられたと考えられる。第I群と第II群が第2埋葬に伴うもので、第1埋葬時のものを移してから、棺台を据えて埋葬したものと思われる。

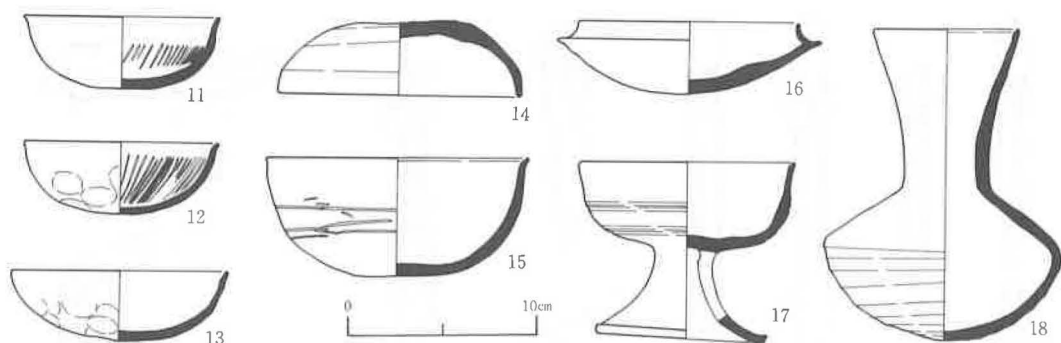
土器(第13図)

土器は須恵器の杯蓋、杯身、長頸壺、高杯、土師器の椀、杯身3個体の計8点であり、完形



(M.N.O.は、第3・4群の左側壁側)
 (埋土内より出土したが地点は不明)

第12図 床面遺物出土状況 (1/20)



第13図 石室床面出土土器

または完形に復元しうるものであった。

須恵器

杯蓋(16) 天井部は扁平であるがそれほど広くなく、ゆるやかに口縁部に達している。口縁部は少し立たせているが、天井部との間に稜線はほとんどなく、端部を丸くおさめている。天井部外面の2/3を右まわりのロクロで回転ケズリ、他は回転ナデ調整している。

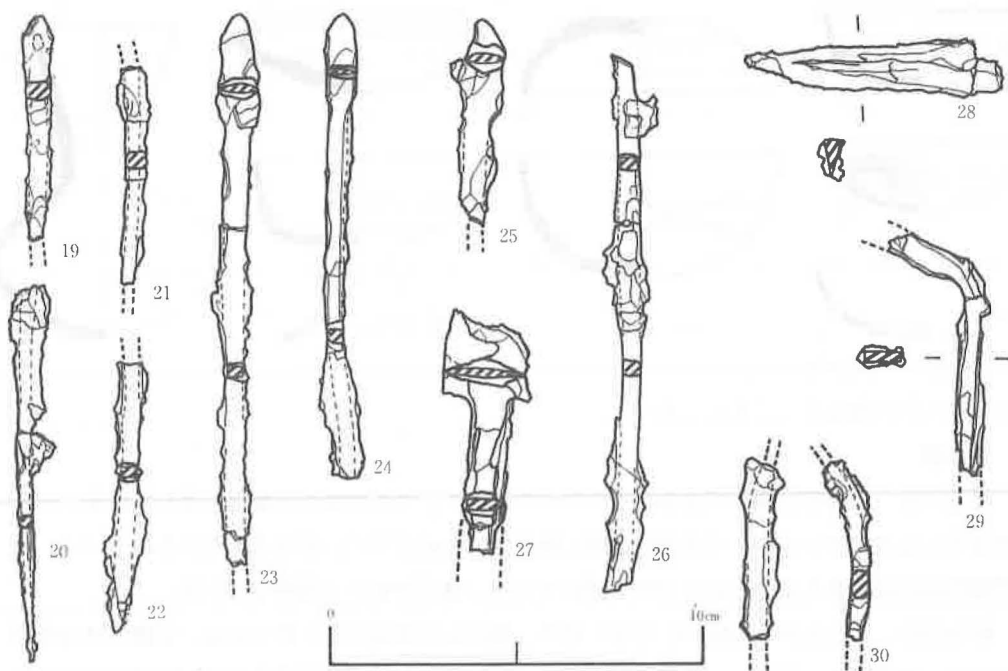
杯身(14) たちあがりは内傾して短く立ち、端部をやや尖くおさめている。受部はほぼ水平にのび、先端を丸く仕上げている。底部は丸く、安定性を欠く。底部外面は2/3近くを右まわりのロクロで回転ケズリ調整している。底部に1本のヘラ描き沈線がある。

長頸壺(18) 口・頸部は体部より極めてゆるやかに外反しながら長くのびあがり、端部を丸くおさめ、内側に段を有する。体部の肩はゆるやかに広がり、体部最大径は口頸基部より2/5にあり、底部を丸く仕上げている。口頸部から体部肩は回転ナデ、体部最大径部より底部は右まわりのロクロで回転ケズリ調整している。口頸部から体部肩にかけて、縦方向の1本のヘラ描き沈線がある。

高杯(17) 杯部は、体・口縁部がやや丸みをもった底部より内湾ぎみに高く立ち上がり、口縁端部を丸くおさめている。体部から底部上段にかけて4本の浅い沈線を施している。脚部は細く短い。3方向に細長い長方形透しがある。裾は大きく開き、端部は斜め上方にのびあがり面をなしている。全面、回転ナデ調整しており、杯部の口縁部から体部にかけて縦方向の1本のヘラ描き沈線がある。

土師器

杯身(11~13) 口径10.4cm、器高3.9cmを測るもの2(11・12)と、口径11.5cm前後、器高3.9cmを測るもの1(13)の3個体がある。いずれも胎土は緻密で、0.5~1.0mmの長石粒を含み、12・13にはチャート粒が見られる。焼成は良好で、色調は橙色を呈する。11・12は丸みをもった底部から内湾ぎみに立ち上がり、口縁端部は少し外反して丸くおさめている。底部外面にはユビオサエを残し、口縁部内外面はヨコナデ、内面はナデ調整で丁寧仕上げている。口縁部外面にはヘラミガキが見られ、内面には正放射状の暗文が施されている。13は器形が若干歪んでいる。丸みをもった底部から内湾しながら立ち上がり、口縁端部を丸くおさめている。



第14図 石室床面出土鉄製品

底部外面ユビオサエ、口縁部内外面ヨコナデ、内面ナデ調整している。口縁部外面には粗いヘラミガキが見られる。

椀(15) 口径13.8cm、器高6.2cmを測る。0.5~1.0mmの長石粒、チャート粒を若干含む、緻密な胎土である。焼成は良好で、色調は橙色を呈し、体部外面に黒斑が見られる。体・口縁部は、底面をやや扁平にした底部から内湾ぎみに高く立ち上がり、口縁端部を少し外反させてやや丸くおさめ、内面に浅い沈線を施している。体・口縁部内外面ヨコナデ、底部外面ユビオサエののち3方向へのヘラケズリ、内面ナデ調整で丁寧に仕上げている。体・口縁部外面にはヘラミガキが施されている。

鉄製品 (第14図)

鉄製品は鉄鍔9、刀子1、かすがい1、不明鉄製品1などが出土した。

鉄鍔(19~27) 19~26は長頸式であり、27は短頸式である。19~22・26は筥被・茎部のみで鍔身は欠損していた。いずれも断面は隅丸の長方形を呈し、茎尻は長く尖らせており、若干木質部を残している。23~25は両丸造筥被鑿筋式で、鍔身は短く、両刃で断面レンズ状を呈し、ゆるやかに筥被部に続いている。27は筥被鋒鋭両丸造三角形式である。鍔身は筥被より両側へ水平に広がり、両刃で断面はレンズ状をなす。鋒先部は欠損。筥被は断面長方形を呈し、茎部はほとんど欠損しているが一部木質が残っている。

刀子(28) 刀身残存部6.8cm、関部幅1.5cmを測る。棟は平棟で、断面は二等辺三角形を呈する。茎部は欠損して不明。

かすがい(29) 両端部とも欠損しているため原形などは不明である。断面は長方形を呈し、

端部を大きく折り曲げている一約115°。短辺部内側には横方向の木質が残っている。

不明鉄製品(30) 両端とも欠損。断面は長方形を呈し、一端部はやや薄くなって、ゆるやかに折れ曲り、端部近くは細くなっている。

この他、第I群より鉄鏃・刀子・かすがい、第III・IV群より鉄鏃などの小片が出土している。

註(1) 後藤守一 「上古時代鉄鏃の年代研究」 『日本古代文化研究』 1942年によった。

e. 出土人骨

無袖横穴式石室内の古墳時代後期の堆積層から、少なくとも4体分以上の人骨と歯が出土している。人骨はいずれも保存状態が不良なため、部位が同定できないものが多いが、歯の歯冠は比較的良く保存されている。

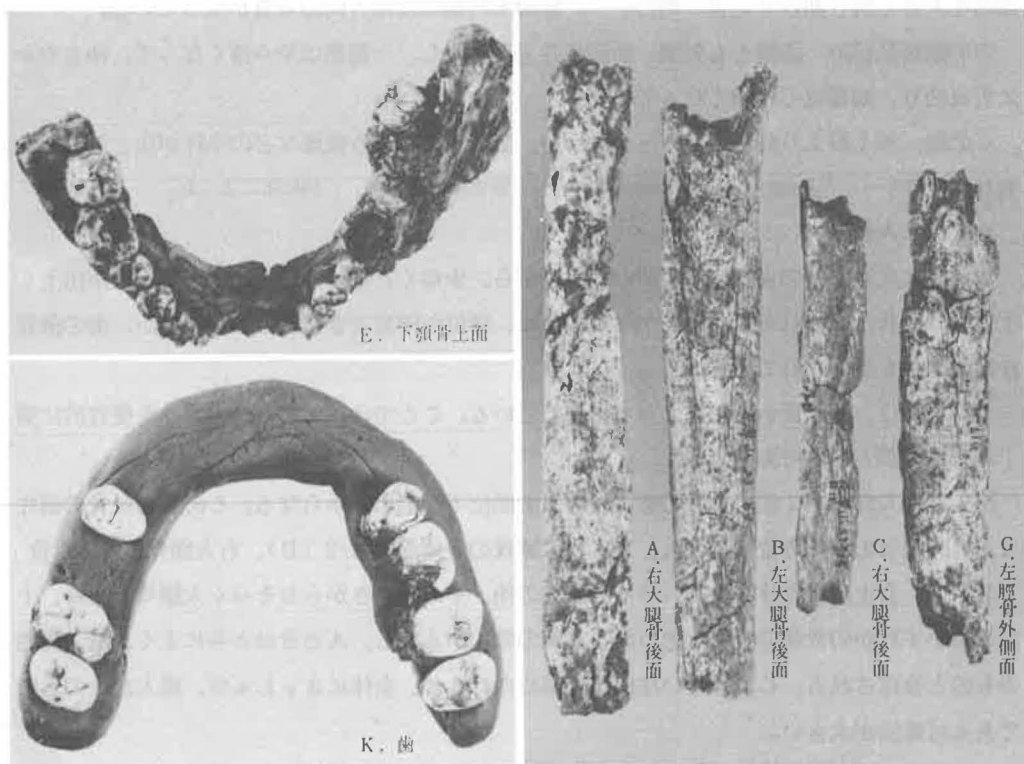
人骨と歯は、4箇所からまとまって出土している。ここでは、まとまりの各々を便宜的に第1から第4群と呼んでおく。

第1群の人骨は、7個の長骨の破片と数個の部位不明の小片からなる。このうち長骨の破片は、右大腿骨の骨体近位1/2(A)と、左大腿骨の骨体近位1/2(B)、右大腿骨の骨体近位1/4(C)、右上腕骨骨体中央部(D)の4片の他、その大きさからおそらく大腿骨、脛骨、上腕骨のいずれかの骨体の一部と思われる3個の骨片からなる。AとBはともに太く、成人男性のものとして推定される。Cには軽い柱状性が認められるが、全体にきゃしゃで、成人女性のものである可能性が大きい。

第2群は、第1群と接した位置から出土しており、永久歯が釘植した下顎骨(E)と、頭蓋骨の破片(F)、左脛骨骨体中央部(G)、右脛骨骨体中央部(H)の他、部位が同定できない多数の長骨片からなる。これらのうちEには、歯槽が欠けている左右の切歯と右第3大臼歯を除くすべての下顎歯が釘植した状態で残存し、左第2大臼歯以外は歯冠が残っている。咬耗による象牙質の露出は、第1大臼歯では歯冠上面の2/3にわたってみられるが、第2大臼歯では点状で、第3大臼歯では咬耗はエナメル質内にとどまっている。これらのことから年齢は壮年の後半(30代)と推定される。性別は骨の大きさから男性のものとして推定される。Fは、骨の厚さや出土位置から、Eと同一個体とみられる。GとHは太く、やや扁平である。

第3群の人骨は9個の長骨の破片からなるが、いずれも保存状態が不良で、同定できたのは左脛骨中央部の1個だけ(I)である。この骨は大きさからみて成人男性のものである可能性が大きい。

第4群は主に頭蓋骨(J)と一連の歯(K)からなる。頭蓋骨は、脳頭蓋部のうち、頭頂骨および側頭骨の破片からなるが、左右は判定できない。歯は、上顎の右第2小臼歯、第2、第3大臼歯と左第2小臼歯から第3大臼歯までが残存する。咬耗は、第2小臼歯と第1小臼歯では点状に象牙質が露出するが、それ以外の歯ではエナメル質内にとどまっており、これらのことから年齢は20歳前後と推定される。性別は判定できない。なお、この他に、右上顎大臼歯2個と左上顎小臼歯1個が存在するが、いずれも咬耗がほとんど認められず、明らかにKとは別個体に属する。



第15図 石室出土人骨

これらの人骨群の他、第2群よりやや入口よりの土器内から、上顎の右中切歯の歯冠近心部(L)が検出され、また石室の入口に近い部分の埋土内からは、おそらく左上顎大臼歯の一つと思われる歯冠(M)と、右第3大臼歯(N)、左第1あるいは第2大臼歯の歯冠(O)が検出されている。いずれの歯にも咬耗は殆ど認められず、Nは末萌出で、歯冠のみが形成されており、12歳から15歳の小児のものと推定される。Oが第2大臼歯だとすると、比較的近い地点から出土したM、N、Oはすべて同一個体に由来する可能性がある。

第1群と第2群とは出土地点が近く、A、B、E、F、G、Hは人骨の特徴からみても同一個体の成人男性のものである可能性が大きい。Cはこれらとは明らかに別のおそらく女性の個体に属する。第3群のIは第1群のGと同一部位であるから両者は互いに異なるおそらく男性の個体に属する。第4群のJとKは出土状態からみて同一個体のものと考えられ、また、Iとも同一個体である可能性がある。したがって、被葬者には少なくとも、壮年後半の男性、これとは別の成人男性、成人女性、小児の計4個体が含まれることになり、成人の1体は20歳前後である。このうち、最も多くの骨を残していると考えられるのは、第1群と第2群にまたがる壮年後半の男性で、頭を石室の入口の方に向けて埋葬されていたものと考えられる。ただし、左右の脛骨(GとH)は、もしこの個体に由来するとすれば、原位置から動いていることになる。

(多賀谷 昭)

f. 墳丘出土の甕

前述したように、墳丘の一部がかろうじて残存していたのは石室の東南地域のみであった。その残存部分から、底部を穿孔した須恵器の小型の甕を検出した。甕は石室の主軸から東南2mの所から出土し、検出面での径33cmのピット内に据えられてあった。体部上段から口縁部にかけては壊れて、ほとんどが中に落ち込んでいた。

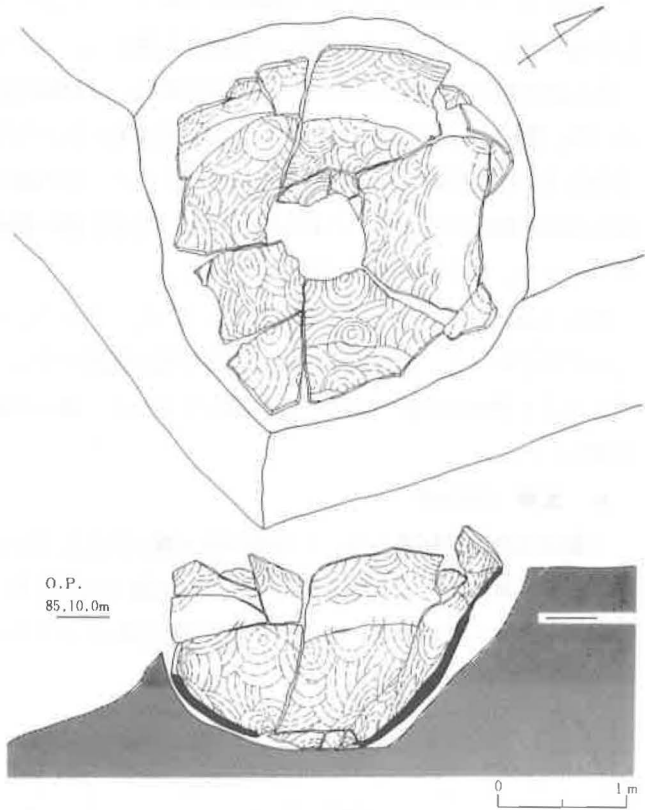
試掘調査のとき、石室の北東約1.5mの第3層内から多量の大甕片が出土していた。原位置を保っていなかったが、石室北東部の墳丘上には大甕が据えられていた可能性が大きい。これらの甕はともに、墓上祭祀に伴うものと考えられる。

須恵器甕(31) ゆるやかに外反する短い口頸部を有す。端部は外方へ屈曲させ、断面方形に肥厚し、その下部に一条の浅い沈線をめぐらしている。体部外面は平行叩き、内面は同心円叩きを施している。内面の叩きは腹部をすり消している。底部には最大径8cmの不定円形の孔が、焼成後に穿たれていた。

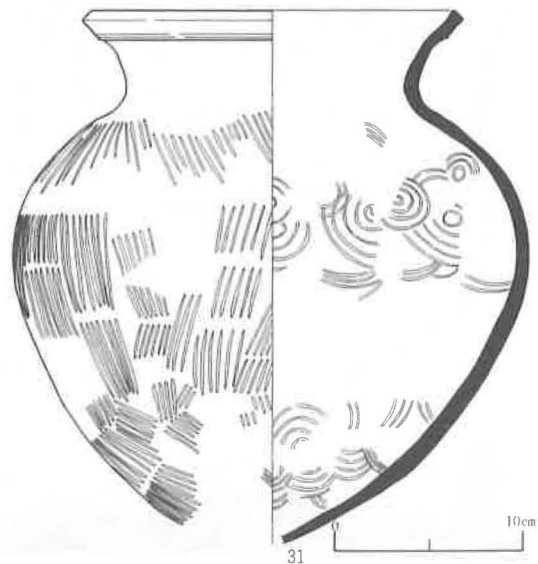
4. 第24号墳

a. 遺構

23号墳の東5mに位置する所から敷石遺構を検出した。敷石は第9層上面で検出し、長辺1.3m、短辺0.65mのやや不整形の長方形土壌内に、20~8cm大の石を敷きならべていた。敷石周辺部はほとんど削平されていたため、周囲の状態ははっきりしないが、南東部隅部でわずかに石のぬき跡を検出し



第16図 墳丘出土の甕実測図 (1/6)



第17図 甕実測図

たことから、敷石のまわりには石が立てならべていた可能性があり、小石室を形成していたと考えられる。敷石は北・東と南西隅部にやや大きな石があり、中央部と西北部にはこぶし大の石が見られた。このことから敷石は周囲から置きならべ、中央部で調節したと思われる。

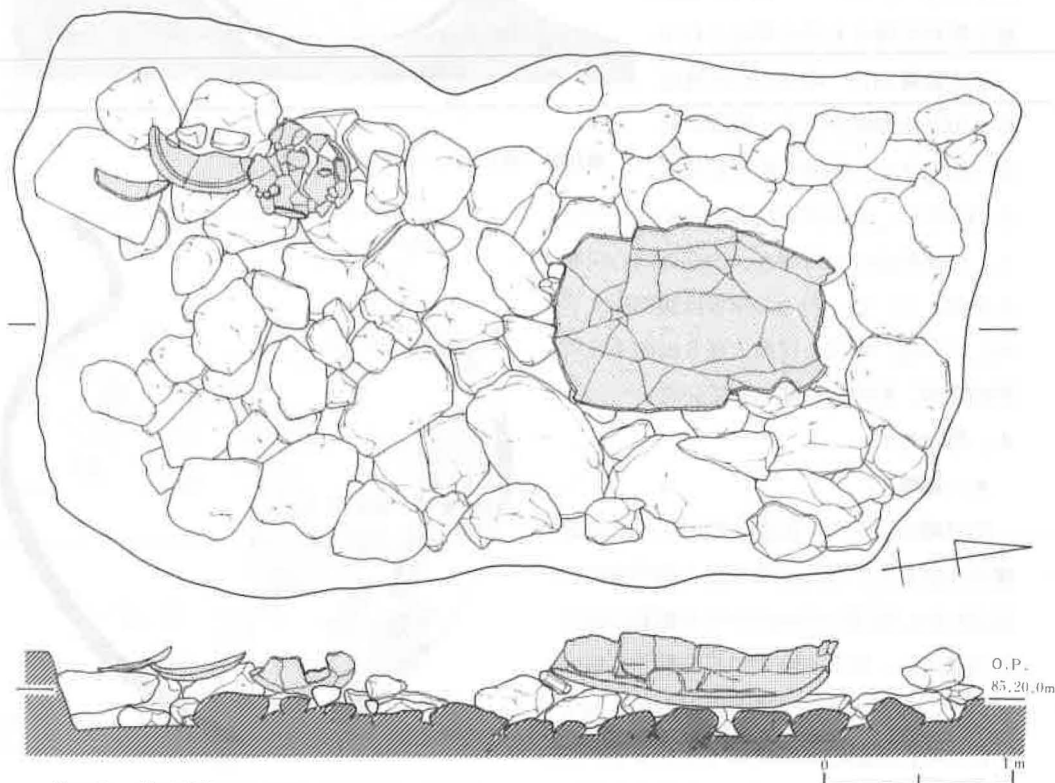
敷石の長軸はN-22°-Eであり、北よりの所に土師器の長胴の甕35がほぼ水平に横たえられていた。甕の口縁部は使用時にすでに打ち欠かれていたと思われ、欠損していた。胴・底部は半分以上が後世の削平によって削り取られていた。南西隅には須恵器の杯蓋32、杯身33と土師器の壺34が置かれていた。これらの土器は、埋葬に伴い供献されたと考えられる。土器は削平などにより、かなりの部分が欠損していた。

敷石上面近くまで、ほとんど削平されていたことから、本古墳に伴う墳丘は全く確認することができなかった。調査途中時には、23号墳の裾部の第2主体部とも考えたが、立地状態や後述する出土遺物などから見て、23号墳より先行して築造されていたと思われ、別古墳として24号墳とした。

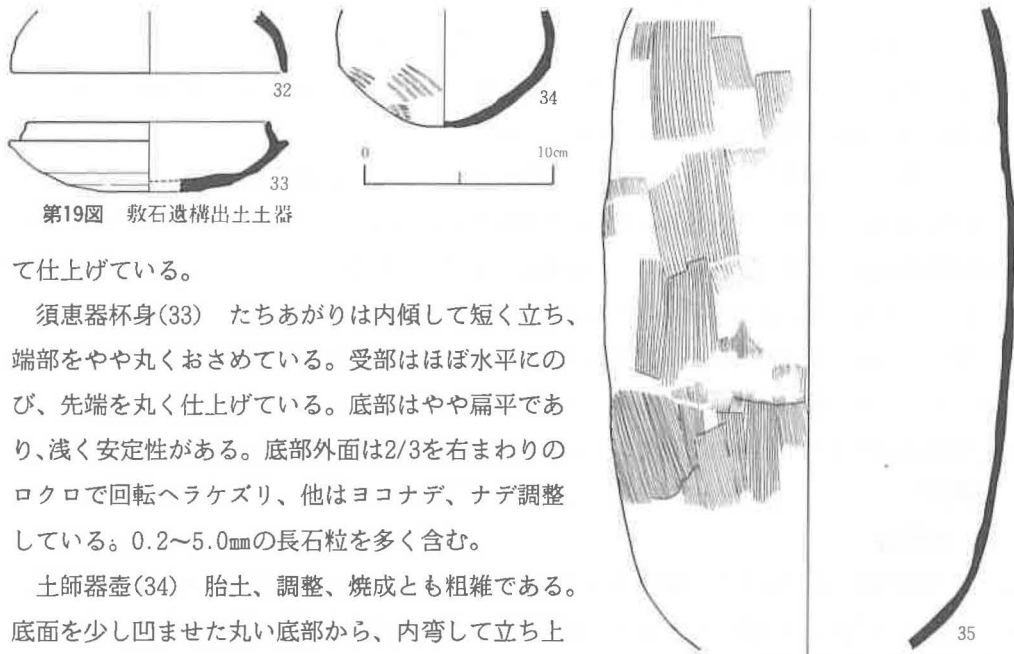
b. 土器 (第19図)

土器は須恵器の杯蓋・身、土師器の壺・甕が出土している。

須恵器杯蓋(32) 天井部と口縁部の境は明瞭でなく、丸くなだらかなカーブを描いており、口縁端部を丸くおさめている。天井部外面は回転ヘラケズリ、口縁部内外面はヨコナデによ



第18図 敷石遺構 (1/10)



第19図 敷石遺構出土土器

て仕上げている。

須恵器杯身(33) たちあがりは内傾して短く立ち、端部をやや丸くおさめている。受部はほぼ水平にのび、先端を丸く仕上げている。底部はやや扁平であり、浅く安定性がある。底部外面は2/3を右まわりのロクロで回転ヘラケズリ、他はヨコナデ、ナデ調整している。0.2~5.0mmの長石粒を多く含む。

土師器壺(34) 胎土、調整、焼成とも粗雑である。底面を少し凹ませた丸い底部から、内弯して立ち上がる。中央部で最大径(11.5cm)をなし、内傾して口縁基部に至る。底部外面は平行叩きののち粗くナデ調整しており、内面もナデ調整を施しているが明僚にユビオサエが残っている。胎土は0.2~9.0mmの長石粒をはじめ金雲母、黒雲母などの砂粒を多く含み粗い。焼成はあまく、色調は赤褐色を呈する。

土師器甕(35) 体部は丸みをもつ底部よりややふくらみをもちながらほぼまっすぐに立ち上がり、上段を少し内傾させて頸部に至る。口縁部は外上方に立ち上がる。体部外面はほぼ全面に縦方向のハケ目を施している。内面は右斜上方向にナデ調整しているが、ユビオサエが明僚に残っている。体部と底部に黒斑が見られる。胎土は0.2~7.0mmの長石をはじめ黒雲母などの砂粒を含み、やや粗い。焼成は良好で、色調は外面にぶい橙色、内面にぶい褐色を呈する。

6. まとめ

花草山23・24号墳の調査は、花草山古墳群での本格的な発掘調査としては最初のものである。『河内四條史』などに古墳の分布状況、各古墳の概要が記されており、これまで、踏査、調査はくりかえし行なわれてきたが、古墳群の形成時期、埋葬状況など、その詳細について知る手掛りはほとんどなかった。以下、今回の調査で明確になったことを記すことにする。

I. 23号墳

- a. 本墳の築造時期は出土遺物などから7世紀前半と考えられる。
- b. 本石室を利用した埋葬は、追葬、再利用を含めて4回はあったことが確認できた。
- c. 第1埋葬は、それに伴う遺物で原位置を保っているものは全くなく、人骨を含めほとんどのものが石室中央部から入口方面に追いやられて散乱した状態で出土した(第Ⅲ・Ⅳ群)。これらの遺物のうち須恵器はTK 217型式にほぼ相当する。

- d. 第2埋葬（追葬）は奥壁部側に棺台を設けて埋葬していた。人骨は遺存状態が悪かったが、ある程度まとまって出土した。棺台の前には土師器などが置かれており、その型式から7世紀第Ⅱ四半期ごろと考えられる⁽³⁾。土師器杯13の中から1本の歯（上顎の右中切歯L）が出土しており、当時の葬送習俗の一端を知る資料といえよう⁽⁴⁾。
- e. 小児の歯が3本出土しているが、その埋葬状態については不明である。
- f. 再利用は、土が床面より約10cm埋った10世紀代に行なわれた。第2埋葬時の棺台の上にはほぼ同規模の棺台を設け、埋葬したのち閉塞したと考えられる。
- g. 出土人骨は、骨と歯の鑑定から4体分以上が確認された。
- h. 墳丘からは、主体部の東南部で底部穿孔の須恵器甕が出土し、北東部にも大甕を据えていたと考えられ、墓上祭祀に伴うものと思われる。
- i. 墳丘はほとんど削平されていて、墳丘の形態・規模は不明である。しかし石室の規模・立地状態などからみて、8～9mの円（？）墳と考えられよう。

Ⅱ. 24号墳

- a. 主体部は敷石を施した小石室であったと思われ、7世紀前半に築造されたと考えられる。
- b. 敷石上からは、土器棺と思われる土師器の甕、供献と考えられる須恵器の杯身・蓋、土師器の壺が出土した。須恵器はTK 217型式にほぼ該当する。東大阪市では皿池遺跡で小石室に伴う土器棺—羽釜と甕の合口—を検出しており⁽⁵⁾、墓尾古墳群・鬼虎川・神並・出雲井遺跡からも甕・羽釜を使用した土器棺が出土している⁽⁶⁾。
- c. 墳丘はほとんど削平されていて不明。

以上、23・24号墳の概要を記した。両古墳とも7世紀の前半に築造されたと考えられる。しかし、出土した須恵器（TK 217型式相当）の形態は23号墳の方が若干新しい様相を呈しており、立地状態などから見ても24号墳の方が先に築造されたと思われる。

花草山古墳群は、前述の15・16号墳や今回の23・24号墳を含めても9基の石室が知られているだけである。15・16号墳などは出土遺物・石室の形態から、6世紀の中・後半に築造されたと考えられ、本古墳群は6世紀中・後半から7世紀前半にかけて形成され、7世紀中・後半まで使用（再利用除く）されていたものと思われる。

註

- (1) 荻田昭次・藤井直正編 「考古資料」 『河内四條史 第二冊 史料編Ⅰ』 1977年
- (2) 田辺昭三 『須恵器大成』 1981年
- (3) 「小懇田宮推定地の調査」（奈良文化財研究所 『飛鳥・藤原宮発掘調査報告Ⅰ』 1976年）のC類にほぼ相当する。
- (4) 吉村博恵 「杯内出土の歯—古代葬送習俗の一端—」 『東大阪市文化財協会ニュース』 Vol. 1, No. 3 1987年
- (5) 芋本隆裕 『瓜生堂上層遺跡・皿池遺跡発掘調査報告』 1979年
- (6) 上野利明 「宅地造成事に伴う墓尾古墳群隣接地の試掘調査」 『調査会ニュース』 No. 11・12 1979年
下村晴文 「鬼虎川遺跡出土の羽釜新資料」 『東大阪市文化財協会ニュース』 Vol. 1, No. 1 1986年
曾我恭子 『神並遺跡Ⅰ』 1986年
中西克宏 「枚岡神社境内出土の羽釜」 『東大阪市文化財協会ニュース』 Vol. 2, No. 4 1987年

第3章 出雲井遺跡第4次調査

1. 遺跡の概要

生駒山の西斜面に位置する東大阪市出雲井町・出雲井本町・五条町には、横穴式石室を有する円墳14基よりなる古墳時代後期の群集墳が存在する。これらは地名を冠して出雲井古墳群と呼称されている。

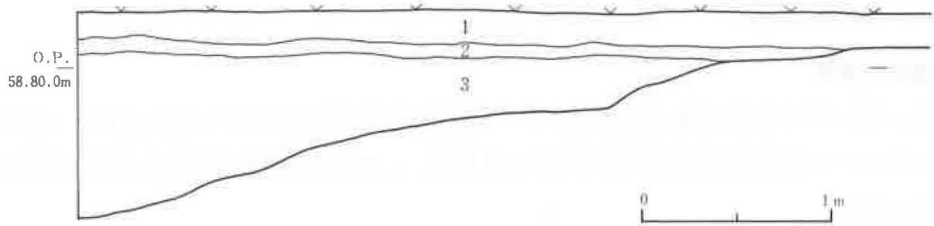
出雲井古墳群における調査は、昭和58年度に実施した第4・5号墳を中心とする試掘調査にはじまる⁽¹⁾。本格的な発掘調査は、昭和60年に枚岡神社内に所在する第7号墳を対象としてはじめて実施された。その結果、半壊状態の横穴式石室の玄室床面より鉄刀・鉄鏃・金環・須恵器・土師器などが組み合わせ式石棺の破片と共に出土した⁽²⁾。同年の10月から翌年3月にかけて、五条町9番地を中心とするマンション建設予定地約3589㎡を対象として第3次調査が実施され、地表に石室が露出している既知の古墳のほかに、棚田の下に半壊状態で埋れた古墳3基があらたに検出された。これらの古墳からは前記と同様の副葬品が出土し、また古墳内とは別の地点より6世紀代の製塩土器、中世の火葬土壙墓、中世末～近世初めの井戸・柱穴などが検出された⁽³⁾。その結果、付近一帯は出雲井遺跡として周知されることとなった。

註

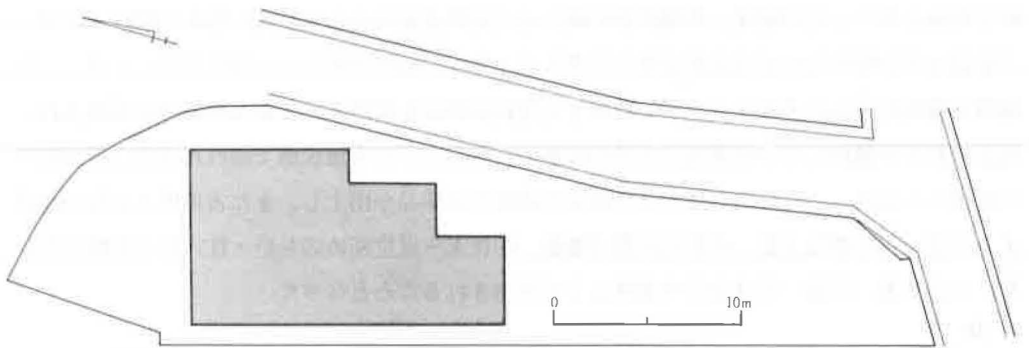
- (1) 「出雲井古墳群の調査」 『馬場遺跡・鬼塚遺跡・出雲井古墳群発掘調査概要』 東大阪市教育委員会 1984年
- (2) 「出雲井7号墳発掘調査」 『東大阪市埋蔵文化財調査概要 1985年度』 東大阪市教育委員会 1986年
- (3) 「出雲井古墳群現地説明会資料」 (財)東大阪市文化財協会 1986年3月15日



第20図 古墳の分布と調査地点 (1/5000)



第21図 調査地北壁断面図 (1/20)



第22図 調査地位置図 (1/300)

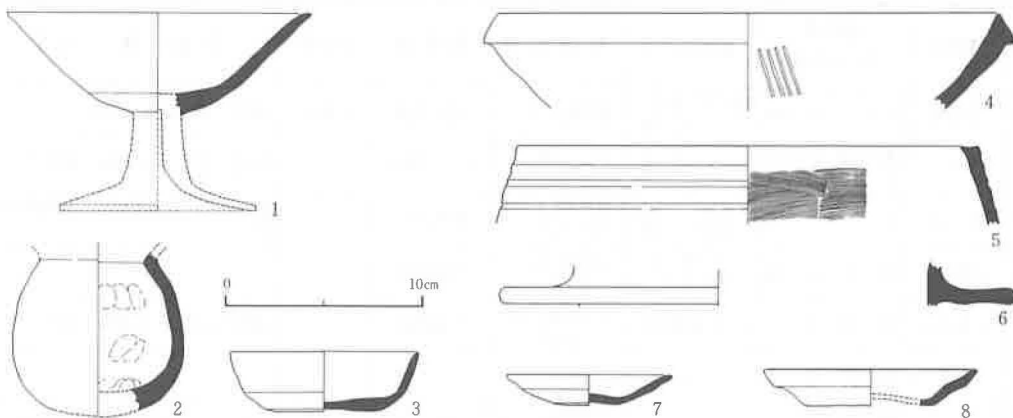
2. 調査の結果

東大阪市五条町53番地において、昭和62年7月28日から8月4日まで第4次調査を実施した。住宅建設予定地約130㎡を対象として開始し、盛土および第1層耕土を機械によって掘削した後、第2層床土以下を人力によって掘削した。

調査地の東半部は発掘を開始して間もなく耕土直下に地山と考えられる礫層（第4層赤褐色粘土・シルト混り砂礫層）があらわれた。この礫層の上面は削平されていたが、これは棚田を形成する際に調査地東部を削平し、削り取った土で調査地西部を嵩上げたことによる。調査地西部では、第4層は急速に高度を減じ、調査地西壁部分と調査地東部平坦部分との比高差は約1mを測る。この傾斜面は自然地形を示すものである。自然地形は東から西へ下降すると共に、北から南へもゆるやかに下降している。調査地東半部の第4層の上には、棚田を形成した際の客土層とみられる第3層灰黄褐色細礫混り粘土質シルト層が傾斜面を覆って平坦にしている。

遺構は何ら検出されなかったが、遺物は第3層より6世紀代の須恵器・土師器の破片と瓦器土師器・青磁などの中世土器あるいは瓦器碗消滅以後の近世初頭にする土師器小皿などがいずれも2次的な堆積の状態で出土した。

古墳時代の遺物としては、土師器高杯1・土師器埴2、須恵器杯3・須恵器高杯脚部などが認められる。1は大きく外上方に開く杯口縁部をもつ。灰白色(2.5Y8/2)を呈し、クサリ礫を多く含む胎土から非河内産と見られる。脚部を欠くが、杯底部に擬口縁を認める特徴から、



第23図 出土遺物

この高杯の製作は先に半乾燥の状態となった脚部上縁に杯部粘土を積み上げて成形したことが知られる。2は器体下部に重心をもつ丸底の胴部から「く」の字に外反する口縁部が付く罎。胴部は内外とも凹凸を残す粗雑な仕上げである。赤褐色（5Y R4/6）を呈し、角閃石粒を多量に含む特徴は河内産を示している。3は回転ナデ仕上げ、底部ヘラ切りの杯身。灰白色（N7）を呈する。これらの他に羽釜6は赤褐色（5Y R4/4）を呈し、角閃石を多量に含む胎土から奈良時代のもと思われる。鏝の下面に煤が付着している。

4・5・7・8は中世末あるいは近世初めと考えられるもの。4は内面に放射状のクシ目を施す摺鉢、赤灰色（2.5Y R4/1）を呈する。5は瓦質の羽釜。内傾する口縁部の外面には凹線、内面には目の細かいヨコハケ（11本/cm）が行なわれている。灰色（N6）を呈する。7・8は土師器の小皿で共に底部の中央が凹む特徴をもつことから、瓦器碗が消滅した後の型式と考えられる。他に明代のもと思われる青磁碗の破片が1点みられる。

3. まとめ

1. 本調査地は中世末～近世初めの集落跡とみられる出雲井遺跡内に位置するが、調査の結果遺構は検出されなかった。
2. 調査地の自然地形はもともと東から西にかなりの割合で下降する傾斜面であったが、これを近世初めに棚田状に整地したことが明らかとなった。
3. 遺物には、古墳時代の須恵器・土師器・中世末の瓦器・土師器・陶器・青磁、近世初めの土師器などが出土した。このうち古墳時代に属するものは隣接する出雲井古墳群に伴うものが流れ込んだと考えられ、中世末～近世初めに属するものは周辺の出雲井遺跡よりの流れ込みと考えられる。
4. 棚田の形成時期が今から約300年前の近世初めに遡ることから、付近一帯には上部を削平された古墳が棚田の下に埋れている可能性はある。

昭和62年度市域調査(予定)一覧表

| No | 遺跡名 | 届出者 ※(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|-----|-------------|------------------------|------------------------|-------------------------------|-------|-----|--------------------|
| 1 | 北島池 | ゼネラル石油(株) | 鉄骨造2階建 タンク埋設工事 | 若草町9-16 | 発掘調査 | 市教委 | 遺構、遺物、検出せず |
| 2 | 〃 | 東大阪市水道 企業管理者 | 消火栓設置工事 | 下六万寺町 3丁目1239先 | 立合い調査 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 3 | 若江 | 山 土 茂 | (事務所)鉄骨造 3階建ベタ基礎 | 若江本町4丁目 72-8,9,10 | 発掘調査 | 〃 | GL-37cmで中世包含層遺構を検出 |
| ※4 | (遺跡外) | 由 井 正 剛 | 土木建築工事 (病院建設) | 吉田島之内 12-1 | 試掘調査 | 〃 | |
| 5 | 正興寺山 | 田 村 太 一 | 木造2階建住宅 | 東石切町3丁目 1069-13 | 発掘調査 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 6 | 〃 | 牧 野 孝 治 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| ※7 | 岩滝山 | 那 波 幸 子 外 3 名 | | 六万寺町1丁目 788-1 | 試掘調査 | 〃 | GL-20cmで中世包含層遺構検出 |
| 8 | 水 走 | 大 砂 古 繁 | 木造2階建住宅 | 川中町895-3 | 立合い調査 | 〃 | |
| 9 | 〃 | 清澄寺代表役員 | 建築工事 (寺院建替) | 今米218 | 発掘調査 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 10 | 〃 | 東大阪市水道 企業管理者 | 上水道 配水管布設 | 水走202~224-1 | 立合い調査 | 〃 | 〃 |
| 11 | 岩滝山 | 河 村 圭 治 | 木造2階建住宅 | 六万寺町1丁目 896-4,894-3 | 〃 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 12 | 弥 刀 | 門之園工務店(株) | (SW造3階建) 分譲住宅新築工事 | 近江堂1丁目 534-22 | 〃 | 〃 | |
| 13 | 衣 摺 | 花 岡 克 之 | RC造3階建ビル | 衣摺5丁目 98-3,-6 | 発掘調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 14 | 上小阪 | 小 林 貞 雄 | 木造2階建住宅 | 若江西新町 4丁目12-1 | 立合い調査 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| ※15 | (遺跡外) | 中 川 正 雄 | 土木・建築工事共同 住宅3階一部4階建 | 日下町5丁目 1268-1の一部 | 試掘調査 | 〃 | 〃 |
| 16 | 瓜生堂 | 市長 北川 謙次 | RC造地上3階 ・地下2階建 | 若江西新町 1丁目7 | 発掘調査 | 〃 | |
| 17 | 縄 手 | 双 葉 住 宅 (株) | 鉄骨造3階建 共同住宅 | 末広町806-2 | 〃 | 〃 | GL-95cmで古墳時代包含層検出 |
| 18 | 額田山 古墳群 | 高 木 伸 治 | 木造2階建住宅 | 山手町2128 -5,-6 | 立合い調査 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 19 | みかん山 古墳群 | 上 田 桂 子 | 〃 | 山手町239-1,-2 | 〃 | 〃 | 遺構、遺物検出せず |
| 20 | 神 並 | 三 陽 建 設 (株) | 軽量鉄骨造 1階建倉庫 | 東山町1194 | 〃 | 〃 | |
| 21 | 鬼 塚 | 澤 田 工 業 所 (株) | S造1階建倉庫 | 箱殿町633-6 | 〃 | 〃 | 掘削の深さには遺構、遺物なし |
| 22 | 鬼虎川 | 中 西 俊 彦 | 軽量鉄骨造 2階建住宅 | 弥生町 1344-1,2226-1 | 〃 | 〃 | |
| ※23 | 西岩田 | 日 新 日 産 モ ー タ ー (株) | 建築工事 | 西岩田町4丁目 151-4 | 試掘調査 | 〃 | 遺構、遺物検出せず |
| 24 | 神 並 古墳群 | 高 地 博 | 木造2階建住宅 | 上石切町1丁目 1223-13 | 立合い調査 | 〃 | 〃 |
| 25 | 水 走 | 田 中 克 己 | 鉄骨造貸工場 | 水走328-1,-3(226 街区9-1,92符号) | 〃 | 〃 | 掘削の深さには遺構、遺物なし |
| 26 | 皿 池 | ミ ヤ マ (株) | 木造2階建ワ ン ルームマンション | 喜里川町93-6 | 発掘調査 | 〃 | 〃 |
| 27 | 鬼 塚 | 東大阪市水道 企業管理者 | 配水管布設工事 | 箱殿町458~459 | 〃 | 〃 | 〃 |

| No. | 遺跡名 | 届出者 ※(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|-----|--------|---------------|-------------------------|--------------------------------------|-------|-----|----------------------------|
| 28 | 新家 | コマダ(株) | 鉄骨造2階建事務所 | 新家東52-4,-9 | 発掘調査 | 市教委 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 29 | 水走 | 巽日吉 | 4階建ビル事務所 | 水走283-1 (351-12) | " | " | 遺構・遺物検出せず |
| 30 | 芝ヶ丘 | 笠井弘美 浩介 | 軽量鉄骨造 2階建住宅 | 日下町2丁目 1484-7 | 立合い調査 | " | |
| 31 | 菱江寺跡 | 岡部政春 | " | 菱江109-1 | " | " | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 32 | 若宮古墳群 | 井上譲 | 木造2階建住宅 | 東山町977-5 | " | " | G L-75cmで中世包含層検出 |
| ※33 | 加納 | 藤井産業(有) | 建築工事 | 川中454 | 試掘調査 | " | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 34 | 神並 | 河村興治 | 木造2階建 長屋住宅 | 東石切町1丁目 903-1,-4 | 立合い調査 | " | 遺構・遺物検出せず |
| 35 | 出雲井古墳群 | 遠山文雄 | 木造3階建住宅 | 五条町8-2 | " | " | " |
| 36 | 鬼塚 | 中川富士男 | 木造2階建 住宅増築 | 箱殿町458-19 | " | " | |
| 37 | 神並 | 岸本廣次 | 木造2階建住宅 | 西石切町1丁目 41-2 | " | " | |
| 38 | 芝ヶ丘 | 馬場健郎 | 鉄骨造ガレージ | 中石切町4丁目 2501-5 | " | " | |
| 39 | 五合田 | 上野昇一 | 木造2階建住宅 | 末広町820-3 | " | " | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 40 | 芝ヶ丘 | 楠見孝雄 | 軽量鉄骨造 2階建住宅 | 北石切町1850-8 | " | " | " |
| 41 | " | 井上雅博 | 鉄鋼系大型スキン パネル造2階建住宅 | " | " | " | " |
| ※42 | (遺跡外) | 創価学会 | 建築工事 (礼拝所) | 吉田8丁目 ¹⁻⁷ ₁₋₈ | 試掘調査 | " | 遺構・遺物検出せず |
| 43 | 芝ヶ丘 | 野田邦雄 | 木造2階建住宅 | 北石切町 2243-21 | 発掘調査 | " | " |
| 44 | 西ノ辻 | 寺西定治郎 | 鉄筋コンクリート造 3階建店舗付共同住宅 | 西石切町3-151 | " | " | G L-94cmで弥生時代中期包含層 遺構検出 |
| 45 | 法通寺跡 | 石田弘 | 木造2階建住宅 | 東石切町1丁目 715-5 | 立合い調査 | " | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 46 | 水走 | 仲田卯一 | 鉄骨造4階建基 礎建設(事務所) | 吉田船場50-2 | " | " | " |
| ※47 | 花草山古墳群 | 日昭興産(株) | 土木・建築工事 | 上四条町1225 | 試掘調査 | " | G L-20cmで中世の包含層遺構検出 |
| 48 | 瓜生堂 | 難波節三 | 2階建住宅 | 下小阪5丁目 34-8 | 立合い調査 | " | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 49 | 西ノ辻 | 末谷久雄 | 木造2階建住宅 | 東山町1582 ⁻⁸ ₋₁₇ | " | " | |
| 50 | 鬼虎川 | 糸岡(株) | RC造5階建 住宅 | 西石切町7丁目 192-9 | 発掘調査 | " | 遺構・遺物検出せず |
| 51 | 若宮古墳群 | 筒井隆子 | 木造2階建住宅 | 東山町977-5 | 立合い調査 | " | G L-75cmで中世包含層検出 |
| ※52 | 植附 | 西川隆夫 | 建築工事 | 西石切町 3丁目99 | 試掘調査 | " | G L-60cmで鎌倉時代包含層検出 |
| 53 | 久宝寺 | 和田征彪 | 鉄骨造 3階建住宅 | 大蓮南2丁目 453-9 | 立合い調査 | " | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 54 | 西堤 | 永和住宅(株) | 4階建分譲住宅 | 藤戸新田町53-1 | " | " | 遺構・遺物検出せず |

| No. | 遺跡名 | 届出者 ※(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|---------|------------|------------------|--------------------|-------------------------------------|-------|-----|--------------------------|
| 55 | 船山 | 城戸産業(株) | 分譲住宅建築 | 六万寺町3丁目 1037-1 | 立合い調査 | 市教委 | GL-57cmで弥生時代後期包含層 検出 |
| 56 | 芝ヶ丘 | 〃 | 木造2階建住宅 | 北石切町 2198-31 | 〃 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 57 | 友井東 | クド一(株) | 鉄骨造6階建 倉庫・社宅 | 金物町6-7 | 発掘調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 58 | 五合田 | 森田清夫 | 木造2階建住宅 | 末広町819-9 | 立合い調査 | 〃 | |
| ※ 59 | (遺跡外) | 村尾商業(株) | 土木・建築工事 | 長田中1丁目 47,48,49,50,51, | 試掘調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 60 | 皿池 | サカグチ商事(有) | 鉄骨造3階建 共同住宅 | 河内町 ⁴⁴⁶⁻¹ 447-1 | 発掘調査 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 61 | 孤塚 | 富松高久 | 木造2階建住宅 | 出雲井本町 186-3,187-3 | 立合い調査 | 〃 | 〃 |
| 62 | 〃 | 鳥居輝雄 | 鉄骨造平家建 住宅 | 喜里川町124-2 | 発掘調査 | 〃 | GL-37cmで鎌倉時代包含層検出 |
| 63 | 鬼塚 | 西口新次 | 鉄骨造2階建 貸店舗付住宅 | 箱殿町275-4 | 〃 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 64 | 芝ヶ丘 | 西小路雄幸 | 鉄筋コンクリート 造2階建住宅 | 中石切町2丁目 2019,2020-1 | 〃 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 65 | 〃 | 丹生好人 | 木造2階建住宅 | 北石切町2262-7 | 立合い調査 | 〃 | 〃 |
| 66 | 稲葉 | 友和興産(株) | 分譲住宅 木造2階建 | 吉田春日153-29 | 〃 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 67 | 辻子谷 | 阪本清 | 木造2階建住宅 | 東石切町302 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 68 | 鬼塚 | 合同鉄線(株) | 鉄骨造2階建工場 | 南荘町124-1, 124-4,125-1 | 発掘調査 | 〃 | GL-50cmで古墳時代中期の包含 層検出 |
| 69 | 豊浦谷 古墳群 | 森川純孝 | 木造2階建住宅 | 東豊浦町1176-8 | 立合い調査 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| ※ 70 | 水走 | 大東運輸(株) | 土木・建築 (土地売買) | 吉田船場36 | 試掘調査 | 〃 | 〃 |
| 71 | 久宝寺 | 高橋工務店 | 3階建鉄骨造一部木 造専用住宅 | 大蓮東4丁目 178-15 | 発掘調査 | 〃 | |
| 72 | 五里山 古墳群 | 打越照夫 | 木造2階建 (建売住宅) | 上六万寺町1800 他21筆 | 〃 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 73 | 善根寺山 | 東洋生興(株) | 木造2階建住宅 | 善根寺町6丁目876- 17,876-16の一部 | 立合い調査 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| ※ 74 | 西岩田 | 関西電力(株) 大阪南支店 | 地中電線路管 埋設 | 西岩田3丁目~新家(伊達 大阪中央環状線歩道部) | 試掘調査 | 〃 | 古墳時代の包含層検出 |
| 75 | 北屋敷 | 杉本嘉男 | 鉄骨造1階建住宅 (ガレージ) | 横小路町3丁目 1-29 | 発掘調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 76 | 芝ヶ丘 | 秋田工務店(株) | 木造2階建住宅 | 北石切町1919 -3,-4 | 立合い調査 | 〃 | |
| 77 | 山畑 古墳群 | 杉浦亘 | 木造2階建住宅 | 客坊町963-4 | 〃 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 78 | 足立氏 館跡 | 三宅立志 | 木造3階建住宅 | 善根寺町6丁目 58-3 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 79 | 水走 | 川中正彦 | R/C造6階建 (共同住宅) | 川中町315(川中202-2新 区番号:1,9,10,11併号) | 〃 | 〃 | 遺構遺物検出せず |
| 80 | 西ノ辻 | 稲垣多喜穂 | 木造一部S造 車庫付住宅 | 弥生町1408-7 | 発掘調査 | 〃 | GL-37cmで弥生時代中期の包含 層検出 |
| ※ 81 | (遺跡外) | 出口安次郎 | 建築工事 | 衣摺1丁目 1018-2,3 | 試掘調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |

| No. | 遺跡名 | 届出者 ※(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|--------------|--------|---------------|------------------|---|-------|-----|-----------------------------|
| 82 | 水走 | 杉山光正 | 鉄筋コンクリート造4階建共同住宅 | 吉田新堀29-1(仮構地)吉田新堀29(所収)1-吉田新堀宮本通5丁目29-1(仮地) | 発掘調査 | 市教委 | 遺構・遺物検出せず |
| 83 | 出雲井古墳群 | 有田永次郎 田中義一 | 木造2階建住宅 | 喜里川町31-2,31-3 | 立合い調査 | 〃 | |
| 84 | 西ノ辻 | 中川守之助 | 〃 | 東山町1444 | 〃 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 85 | 弥刀 | 山田正一 | 倉庫建築(2階建) | 源氏ヶ丘127-3 | 〃 | 〃 | |
| 86 | 〃 | 三山雅史 | RC造5階建共同住宅 | 近江堂1丁目272 | 発掘調査 | 〃 | G L-80cmで中世の包含層検出 |
| 87 | コモ田 | 日興建設(株) | 木造一部RC造3階建長屋住宅 | 六万寺町2丁目409-4,-5 | 〃 | 〃 | |
| ※88 (遺跡外) | | 増田組(株) | 不動産売買 | 吉原町153(140街区、5符号) | 試掘調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| ※89 | 〃 | 末吉利一 | 建築工事 | 今米 ¹⁵⁻¹ ₂₂₋₁ | 〃 | 〃 | 〃 |
| 90 | 辻子谷古墳群 | 川端旭 | 木造2階建住宅 | 上石切町1丁目1398 | 立合い調査 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 91 | 鬼虎川 | 吉川義夫 | 鉄骨造1階建住宅 | 宝町1706-1,1707-1,1708-1の1部 | 発掘調査 | 〃 | 〃 |
| 92 | 久宝寺 | 和田正一 | S造3階建住宅 | 大蓮南2丁目417-57 | 慎重に実施 | — | — |
| 93 | 半堂 | 日興建設(株) | 分譲住宅建築 | 六万寺1丁目359-1 | 発掘調査 | 市教委 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 94 | 上小阪 | 藤井チヅエ | 鉄骨2階建共同住宅 | 東上小阪625-1の1部、626-1の1部 | 〃 | 〃 | |
| 95 | 西ノ辻 | 竹中愛和 | 鉄骨4階建共同住宅 | 西石切町3丁目170 | 〃 | 〃 | G L-218cmで中世の包含層遺構検出 |
| 96 | 善根寺山 | 日高正己 | 木造2階建住宅 | 善根寺町6丁目876-16 | 立合い調査 | 〃 | G L-60cmで円筒埴輪を含む古墳時代後期包含層検出 |
| 97 | 西ノ辻 | 太田茂一 | 木造2階建住宅 | 南荘町1598-1 | 〃 | 〃 | |
| 98 | 半堂 | 貴島進隆 | 木造1階建住宅 | 横小路町1-64 | 〃 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 99 | 額田寺 | 向井義雄 | 木造2階建店舗付住宅 | 東山町707-1 | 〃 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 100 | 久宝寺 | 小川浩 | 木造2階建住宅 | 大蓮南2丁目346-41 | 〃 | 〃 | |
| 101 | 〃 | 〃 | 〃 | 大蓮南2丁目346-12 | 〃 | 〃 | |
| 102 | 縄手 | 馬所正勝 | 鉄骨造3階建車庫付住宅 | 末広町806-12の1部 | 発掘調査 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 103 | 稲葉 | 市長北川謙次 | 公共下水道工事 | 稲葉2丁目地内 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 104 | 岩田 | 〃 | 〃 | 岩田町6丁目地内 | 〃 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 105 | 瓜生堂 | 〃 | 〃 | 若江西新町1丁目～2丁目 | 〃 | 〃 | G L-175cmで古墳時代の包含層検出 |
| 106 | 芝ヶ丘 | 小松延行 | 軽量鉄骨造2階建住宅 | 中石切町2308、2307の1部 | 立合い調査 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 107 | 河内寺 | 宮島里枝 | 木造2階建住宅 | 河内町678-4 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 108 | 若江 | 白山義春 | 鉄骨造3階建住宅 | 若江本町4丁目941-3 | 発掘調査 | 〃 | G L-20cmで中世の包含層を検出 |

| No. | 遺跡名 | 届出者 ※(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|-----|---------|-----------------|---------------------------|--|-------|-----|------------------------------|
| 109 | 水走 | 谷垣金属(株) | 鉄骨造3階倉庫 | 水走329 226街区2 | 立合い調査 | 市教委 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 110 | (遺跡外) | パラツィーナ(株) | 土木・建築工事 | 御厨茶町2丁目 65-1.66-9の1部 | 試掘調査 | " | 遺構・遺物検出せず |
| 111 | 浄土寺谷古墳群 | 山洋興産(株) | 鉄骨造3階建地下1階建共同住宅 | 六万寺町1丁目 320-1 | 発掘調査 | " | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 112 | 芝ヶ丘 | 高橋紀義 | 木造2階建住宅 | 北石切町2262 -5,-31 | 立合い調査 | " | 遺構・遺物検出せず |
| 113 | 瓢箪山古墳 | 森田盛樹 | 店舗付共同住宅 | 瓢箪山町99-9 99-19 | 発掘調査 | " | " |
| 114 | 弥刀 | 市長北川謙次 | 市立弥刀小学校 便所水施工 | 友井1丁目1-37 | " | " | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 115 | 芝ヶ丘 | " | 石切中学校 プール建設 | 中石切町 4丁目10-3 | " | " | G L-31cmで古墳時代中期末～後期の包含層、遺構検出 |
| 116 | 岩滝山 | 太田建設(株) | 木造2階建住宅 | 六万寺町 1丁目888 | " | " | G L-25cmで中世の包含層検出 |
| 117 | 西堤 | 大日保温工業(株) | 駐車場アスファルト工事 | 西堤学園町 2丁目7-3 | 立合い調査 | " | |
| 118 | 友井東 | 西原正人 | 鉄骨3階建倉庫 | 金物町8-7 | " | " | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 119 | 浄土寺谷古墳群 | 岩井孝雄 | 木造2階建住宅 | 六万寺町 1丁目319-2 | " | " | |
| 120 | 芝ヶ丘 | 川端徹治 | 鉄骨造 2階建住宅 | 中石切町4丁目 2-176-1 | 発掘調査 | " | G L-55cmで古墳時代後期包含層検出 |
| 121 | 鬼虎川 | 大阪府被服団地 協同組合 | SRC造7階建 事務所・倉庫 | 西石切町7丁目 196-9 | " | " | 遺構・遺物検出せず |
| 122 | 水走 | 加藤藤雄 | 鉄骨造 1階建工場 | 水走405の一部(214 街区10符号一部) | 立合い調査 | " | |
| 123 | " | 加藤貞子 | " | " | " | " | |
| 124 | 鬼虎川 | 丸高衣料(株) | RC造4階建 倉庫 | 西石切町 7丁目192-11 | 発掘調査 | " | 遺構・遺物検出せず |
| 125 | 水走 | 大東實男 | 開発工事 (共同住宅6階) | 註田島之内44-1.45-1.46-1の 5-一部中野町33-4(旧備地) 栄-2街区31号の一棟4符号 | 試掘調査 | " | " |
| 126 | 善根寺 | 美建ホーム | 木造1部RC造 3階建住宅 | 善根寺町1丁目 608.610-2,-3 | 発掘調査 | " | " |
| 127 | 水走 | 東平ビル(有) | 建築工事 | 水走 ²⁶⁹⁻¹ 268-1 | " | " | " |
| 128 | 芝坊主山 | 中井工務店(株) | 分譲住宅建築 | 東石切町6丁目 1709-1の一部 | " | " | " |
| 129 | 岩田 | 東大阪市水道 企業管理者 | 上水道工事 | 岩田町6丁目622 | " | " | |
| 130 | 岩田 | 石田一郎 | 2階建住宅(鉄鋼系大 型、スキナパネル構法) | 岩田町6丁目 684-1 | 立合い調査 | " | |
| 131 | (遺跡外) | 石原産業(株) | 建築工事 | 長栄町751~4 | 試掘調査 | " | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 132 | 芝ヶ丘 | 小北和志 | 木造2階建住宅 | 北石切町1980-30 | 立合い調査 | " | |
| 133 | 若江 | 市長北川謙次 | 東大阪市立若江小学 校プール設置工事 | 若江南2-9-54 | 発掘調査 | " | G L-66cmで中世の包含層遺構・ 検出 |
| 134 | 北島池 | 関西電力(株) | 地中電線路管理設 | 新池島町 1丁目~2丁目 | " | " | 遺構・遺物検出せず |
| 135 | 意岐部 | 大阪情報通 信機器(株) | 土木建築工事 | 御厨東 2丁目671-6 | 試掘調査 | " | " |

| No | 遺跡名 | 届出者 ※(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|----------|------------|-----------------|--------------------|--|-------|-----|-----------------------------|
| 136 | 意岐部 | 大阪情報通 信機器(株) | 鉄骨造4階建 事務所ビル | 御厨東 2丁目671-6 | 発掘調査 | 市数委 | 遺構・遺物検出せず |
| 137 | 客坊山 古墳群 | 日昭興産(株) | 土木建築工事 (分譲住宅) | 客坊町1065 | 〃 | 〃 | G L-20cmで鎌倉時代の包含層、 遺構を検出 |
| * 138 | (遺跡外) | タツヤ(株) | 建築工事(3階 建事務所ビル) | 御厨718-3 | 試掘調査 | 〃 | |
| 139 | 芝ヶ丘 | 中澄董 | 木造3階建住宅 (一部RC) | 北石切町1940-3 | 立合い調査 | 〃 | |
| 140 | 鬼塚 | 浅田てる | 木造平屋建住宅 | 新町369-6 | 〃 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| * 141 | (遺跡外) | 南野幸治 | 建築工事 | 今米 ⁶³ 64-1 | 試掘調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 142 | 稲葉 | 孫彰 | 木造2階建住宅 | 吉田春日町 153-9 | 立合い調査 | 〃 | |
| * 143 | 水走 | 株サンルート興産 | 不動産の売買 | 川中271-1,272- 1,272-4,1270-1 | 試掘調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 144 | 若宮 古墳群 | 井之上浩 | 新築工事 | 東山町977-5 | 立合い調査 | 〃 | G L-70cmで中世包含層検出 |
| 145 | 〃 | 石川敏和 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 146 | 〃 | 社会福祉法人 玄清会 | 2階建(B1) RC造保育園 | 東山町 ¹¹⁵⁵ 1158 | 発掘調査 | 〃 | 遺構遺物検出せず |
| 147 | 水走 | 宮前良信 | 鉄骨造 2階建倉庫 | 中瀬257-6,257-7,251- 2,(182街区9,10,11番号) | 立合い調査 | 〃 | |
| 148 | 和泉 | 成和(株) | 鉄骨造3階建 倉庫、事務所 | 中石切町5丁目 2441-4 | 発掘調査 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 149 | 出雲井 古墳群 | 今村達郎 | 鉄骨2階建住宅 | 五条町53 | 〃 | 〃 | 本報告に収載 |
| 150 | 花草山 古墳群 | 株双葉住宅 | 1階鉄骨2・3 木造車庫付住宅 | 上四条町 1202-37 | 〃 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 151 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| * 152 | (遺跡外) | 喜多康夫 | 建築工事 (立体駐車場) | 若江本町 1丁目493-1 | 試掘調査 | 〃 | 〃 |
| 153 | 佐堂 | 村松滴大 | S造3階建住宅 | 金岡町 3丁目192-2 | 立合い調査 | 〃 | |
| 154 | 玉串 | 宇野考士 | 木造2階建住宅 | 玉串元町 2丁目184-9 | 〃 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 155 | 鬼塚 | 中西由尚 | 建築工事 | 立花町 ⁶⁹⁻³ 157-4 | 発掘調査 | 〃 | G L-39cmで中世包含層検出 |
| * 156 | 神並 | 上野三男 | 〃 | 東山町1116-2 | 試掘調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 157 | 水走 | 龍野賢一郎 | 鉄骨造5階建 共同住宅 | 川中 294-1 | 発掘調査 | 〃 | 〃 |
| 158 | 若江 | 高橋幸寿 | 木造2階建住宅 | 若江本町 4丁目952-4 | 立合い調査 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 159 | 鬼塚 | 北口晴康 | 〃 | 新町371-21 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 160 | 西ノ辻 | 撰津毛糸 工業(株) | 鉄骨造2階建 工場・倉庫建築 | 弥生町 ¹⁴¹⁵⁻¹ 1422 | 発掘調査 | 〃 | 〃 |
| 161 | 鬼塚 | 中川正男 | S造2階建 店舗付住宅 | 箱殿町495、 496-1,496-2 | 〃 | 〃 | G L-71cmで古墳時代包含層検出 |
| 162 | 稲葉 | 松本博 | 鉄骨造平屋 店舗付住宅 | 稲葉 2丁目23-6 | 〃 | 〃 | |

| No | 遺跡名 | 届出者 ※(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|-----|------------|----------------|----------------------|-------------------------------------|-------|-----|--------------------------|
| 163 | 水走 | 辰己豊 | 鉄骨造 3階建住宅 | 吉田船場50-6 | 立合い調査 | 市教委 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 164 | 瓜生堂 | 総和建設(株) | 鉄骨造3階建 共同住宅 | 若江西新町2-11 -1,7-8,7-9 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 165 | 若江 | 馬所正勝 | 1階鉄骨2,3階 木造車庫付住宅 | 若江南 2丁目60-9 | 発掘調査 | 〃 | 〃 |
| 166 | (遺跡外) | 飯非克典 | 開発許可(2階建 共同住宅8戸分) | 山手町 ²¹²⁶⁻⁸ 2126-9 | 試掘調査 | 〃 | 遺構遺物検出せず |
| 167 | 植附 | 加藤隆司 | 木造1階建店舗 | 西石切町 1丁目84-1 | 慎重に実施 | — | — |
| 168 | 馬場川 | 貴島睦 | 木造2階建住宅 | 横小路町 3丁目453-2 | 発掘調査 | 市教委 | GL-130cmで弥生時代後期の包含層検出 |
| 169 | 縄手 | 大阪府八尾 土木事務所 | 歩道設置工事 | 南四条町748-1 (縄手小縄手中) | 〃 | 〃 | GL-123cmで古墳時代の包含層検出 |
| 170 | 芝ヶ丘 | 滝本吉男 | 木造2階建住宅 | 目下町2丁目 1425-14,1425-15 | 立合い調査 | 〃 | |
| 171 | 北鳥池 | 山中仙太郎 | LSG造2階建 共同住宅 | 末広町889-1 | 〃 | 〃 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 172 | 神並 古墳群 | 窪田知彦 | 木造2階建住宅 | 上石切町 1-1224-3 | 〃 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 173 | (遺跡外) | 辻中静子 | 建築工事(5階 建共同住宅) | 中石切町1丁目 449-1,449-4 | 試掘調査 | 〃 | GL-20cmで中世の包含層検出 |
| 174 | 具花 | 田中千代造 | 土地売買 | 横小路町661 | 〃 | 〃 | GL-47cmで古墳時代の包含層検出 |
| 175 | 神並 | 森川茂 | 鉄骨S造 7階建住宅 | 東石切町 1丁目835-1 | 発掘調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 176 | 〃 | 松山住宅産業(株) | 鉄骨造 3階建住宅 | 東石切町1丁目 809-4,809-5 | 〃 | 〃 | GL-30cmで奈良～平安時代の包含層・遺構検出 |
| 177 | 〃 | 松山昌二 | 〃 | 東石切町 1丁目809-3 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 178 | (遺跡外) | 西岡作兵衛 | 共同住宅 建築工事 | 玉串町西2丁目 1401-1他 | 試掘調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 179 | 五合田 | 宮本孝男 | 木造2階建住宅 | 末広町820-2 | 発掘調査 | 〃 | GL-5cmで古墳時代の包含層検出 |
| 180 | 久宝寺 | 田中由喜子 | 鉄骨造3階建 共同住宅 | 大蓮南1丁目 357-34,35 | 立合い調査 | 〃 | |
| 181 | 岩滝山 | 大東忠治 | 鉄骨造 2階建住宅 | 上六万寺 1530-1の一部 | 発掘調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 182 | 植附 | 谷口政明 | S造2階建 消防団宅所 | 西石切町 3丁目357 | 立合い調査 | 〃 | GL-30cmで古墳時代の包含層検出 |
| 183 | 客坊山 古墳群 | 城戸産業(株) | 土木・建築工事 | 客坊町1075,1076,1077 1082,1083-1,-2 | 発掘調査 | 〃 | 調査実施中 |
| 184 | (遺跡外) | 岩田弥太郎 | 建築工事 共同住宅 | 新喜多328-1 | 試掘調査 | 〃 | |
| 185 | 弥刀 | 西田艶子 | 鉄骨造4階建 共同住宅 | 源氏ヶ丘53 | 発掘調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 186 | 芝坊上山 | 中井工務店(株) | 鉄骨3階建 車庫付分譲住宅 | 東石切町6丁目 1709-1の一部 | 立合い調査 | 〃 | 〃 |
| 187 | 鬼虎川 | 川本松太郎 | 鉄骨3階建 店舗付事務所 | 宝町1891-22 | 〃 | 〃 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 188 | 池島 | ツジショー(株) | S造2階建倉庫 | 玉串町東2丁目 32-4,32-5 | 発掘調査 | 〃 | 〃 |
| 189 | 上小阪 | 和田久司 | 鉄骨造 3階建住宅 | 東上小阪620-5 | 〃 | 〃 | 〃 |

| No | 遺跡名 | 届出者 ※(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|-------------------|-------------|--------------------|-------------------------|--|-------|-----|---------------------------|
| 190 | 額田寺 | 市長 北川 謙次 | S62年度公共下水道第33工区管キョ業道工事 | 東山町～立花町 | 発掘調査 | 市教委 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 191 | 芝坊主山 | 松 岡 勝 | S造2階建住宅 | 東石切町6丁目 1711-13 | 〃 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 192 | 山 畑 | 西 尾 俊 行 | 鉄骨造3階建 共同住宅 | 上四条町1628-1 | 〃 | 〃 | |
| 193 | 馬場川 | 松 田 忠 義 | 木造2階建住宅 | 横小路町4丁目 1144-2 | 立合い調査 | 〃 | |
| 194 | 岩 田 | 平 井 満 明 | S造2階建住宅 | 岩田町4丁目 529-14、-15 | 発掘調査 | 〃 | |
| 195 | 芝ヶ丘 | 楠 見 孝 雄 | 軽鉄骨造 個人住宅 | 北石切町1850-8 | 〃 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 196 | 小若江 | 阪神興産(株) | ガレージ付木造2階 建建売住宅(5戸分) | 小若江3丁目 161-6、-7、-8 | 〃 | 〃 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 197 | 水 走 | ベニス産業(株) | 鉄骨造2階建店 舗(パチンコ店) | 中瀬310-3,312-2,313, 314-3(189街区3号房) | 〃 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 198 | 正法寺山 | 三 宅 勝 | S造2階建住宅 (地下ガレージ付) | 日下町1009 -7、-11、-12 | 〃 | 〃 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 199 | 花草山 古墳群 | 西尾工務店 | 木造一部RC造 2階建住宅 | 上四条町1213-3 | 〃 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 200 | 芝ヶ丘 | 塩 飽 宏 明 | 木造2階建住宅 | 北石切町 1790-49 | 〃 | 〃 | GL-34cmで鎌倉時代の包含層、 遺構検出 |
| 201 | 瓜生堂 | 川 中 啓 二 | 鉄骨造3階建 店舗付共同住宅 | 小阪5丁目 78-3、78-4 | 立合い調査 | 〃 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 202 | 芝ヶ丘 | (株)城戸産業 | 木造2階建住宅 | 北石切町 2198-31 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 203 | 〃 | 笹 尾 高 造 | 木造+RC造(地下1) 3階建住宅 | 北石切町 2198-49 | 発掘調査 | 〃 | GL-130cmで古墳時代包含層検出 |
| 204 | 若 江 | 東 大 阪 市 下水道管理者 | 公共下水道工事 | 若江本町 4丁目地内 | 〃 | 〃 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 205 | 千手寺山 | 見 浪 博 | RC造3階建 共同住宅 | 東石切町 3丁目2-10 | 〃 | 〃 | 調査実施中 |
| 206 | 加 納 | 西 岡 忠 義 | S造2階建工場 | 加納1031-2,1071,1273 1274各番地の一部(86 街区6-1号地の一部) | 〃 | 〃 | |
| 207 | 正興寺山 | 池 戸 進 作 | 木造3階建 (一部RC)住宅 | 東石切町 3丁目1069-15 | 立合い調査 | 〃 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 208 | 山 畑 古墳群 | 樽 井 敬 太 郎 | 鉄骨造2階建 共同住宅 | 瓢箪山町1-1 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 209 | みかん山 古墳群 | 向 山 良 治 | 軽鉄骨造 2階建住宅 | 東豊浦町1081-4 | 〃 | 〃 | |
| 210 | 西 堤 | 川 浦 勲 | 木造2階建住宅 | 御厨西ノ町35 | 慎重に実施 | — | — |
| 211 | 久宝寺 | 森 岡 登 喜 男 | 〃 | 大蓮南2丁目 352-16,352-58 | 立合い調査 | 市教委 | |
| 212 | 衣 摺 | 平 田 昌 吾 | 住宅建築工事 | 衣摺3丁目 108-2,108-12 | 〃 | 〃 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 213 | コモ田 | 岡 本 浩 | 木造2階建住宅 | 下六万寺町 1丁目429-1 | 〃 | 〃 | GL-37cmで古墳時代の包含層検 出 |
| 214 | 菱江寺 | 松 浦 圭 志 子 野 村 直 | 〃 | 菱江104-1 | 〃 | 〃 | |
| 215 | 鬼 塚 | 黒 川 吉 庸 | 〃 | 豊浦町642-2,5 | 〃 | 〃 | |
| * 216 (遺跡外) | | 福 本 条 造 | 建築工事 (4階建共同住宅) | 新池島町 3丁目1509-4 | 試掘調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |

| No | 遺跡名 | 届出者 ※(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|-----|------------|-----------------|-------------------------|----------------------------------|-------|-----|-------------------------------|
| 217 | 芝坊主山 | (株)中井工務店 | 3階建分譲住宅 (ガレージ付) | 東石切町6丁目 1-711-16 | 発掘調査 | 市教委 | 遺構・遺物検出せず |
| 218 | 鬼虎川 | 堀田 治 夫 | 2階建 工場付住宅 | 宝町1891-23 | 立合い調査 | 〃 | |
| 219 | 水 走 | (株)秋田工務店 | 土地売買 | 水走316-5 | 試掘調査 | 〃 | G L-2.3m まで遺構遺物検出せず |
| 220 | 段 上 | 藤 原 嗣 雄 | 木造2階建住宅 | 下六万寺町1131 -2,1132-16 | 立合い調査 | 〃 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 221 | 西ノ辻 | 竹 中 愛 和 | 鉄骨造4階建 共同住宅 | 西石切町 3丁目170-1 | 試掘調査 | 〃 | 鎌倉時代包含層、遺構、古墳時代 弥生時代の河川検出 |
| 222 | 佐 堂 | 林 宣 秀 | 鉄骨造3階建 共同住宅 | 金岡4丁目 192-28 | 発掘調査 | 〃 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 223 | 山 畑 古墳群 | 寺 脇 義 彦 | 木造2階建住宅 | 客坊町1145-1 | 立合い調査 | 〃 | G L-30cmで中世の包含層を検出 |
| 224 | 高井田 | 森紙販売(株) | 鉄骨造2階建 事務所 | 高井田本町 6-79-1,-2 | 発掘調査 | 〃 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 225 | 瓜生堂 | 栗 山 忠 信 | 鉄骨造2階建 共同住宅 | 中小阪5丁目 257-7 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 226 | 足立氏 館 跡 | 発光土地建物(株) | 3階建住宅(1階 RC造2・3階W造) | 善根寺町 6丁目58-14 | 慎重に実施 | — | — |
| 227 | 稲 葉 | 市長 北川 謙次 | 公共下水道工事 | 稲葉2丁目地内 | 発掘調査 | 市教委 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 228 | 弥 刀 | 木 田 次 郎 | 木造2階建住宅 | 近江堂 2丁目529-2 | 立合い調査 | 〃 | 〃 |
| 229 | 山 畑 古墳群 | 城戸産業(株) | 木造2階建 分譲住宅 | 瓢箪山町50-8 | 発掘調査 | 〃 | |
| 230 | 小若江 | 森 建 設 (株) | 鉄骨造3階建 共同住宅(単身) | 小若江 3丁目312-5 | 〃 | 〃 | G L-66cmで室町時代の包含層遺 構を検出 |
| 231 | 岩滝山 | 友和興産(株) | 木造2階住宅 (分譲住宅) | 六万寺町1丁目 301-4,-1 | 〃 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 232 | 西ノ辻 | 木 ノ 本 晃 | 木造1階建門屋 及びガレージ | 東山町2-31(1581-1,1585-2) | 立合い調査 | 〃 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 233 | 若 江 | 石 田 清 | 共同住宅補強コラ リトフロック3階建 | 若江南2丁目74-1,74 -4の一部分,74-3の一部分 | 発掘調査 | 〃 | 若江城の濠検出 |
| 234 | 正興寺山 | 松 本 智 行 | 木造3階建(一部 RC造)住宅 | 東石切町3丁目 1069-18 | 立合い調査 | 〃 | |
| 235 | 鬼 塚 | 坂 本 茂 幸 | 1階RC2、3階 木造車庫付住宅 | 豊浦町634-1 | 〃 | 〃 | |
| 236 | 〃 | 河 村 興 二 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | |
| 237 | 神 並 | 市長 北川 謙次 | 公共下水道工事 | 西石切町 1丁目18~45 | 発掘調査 | 〃 | 調査実施中 |
| 238 | 市 尻 | 藤 本 フ ジ エ | RC造7階建 共同住宅 | 瓢箪山279 280-1,280-2 | 〃 | 〃 | 古墳時代中期後半から後期の包含 層・遺構検出 |
| 239 | 岩滝山 | 三 友 ハウジング(株) | 木造一部RC造地下 1階、地上2階建住宅 | 六万寺町1丁目 806-31 | 〃 | 〃 | |
| 240 | 〃 | 〃 | 〃 | 六万寺町1丁目 806-32 | 〃 | 〃 | |
| 241 | 〃 | 山 本 幸 夫 | 〃 | 六万寺町1丁目 806-33 | 〃 | 〃 | |
| 242 | 〃 | 〃 | 〃 | 六万寺町1丁目 806-34 | 〃 | 〃 | |
| 243 | 五合田 | 大 伸 地 所 (株) | 鉄骨造3階建 共同住宅 | 末広町931-2 | 〃 | 〃 | G L-80cmで弥生時代中期の包含 層・遺構を検出 |

| No | 遺跡名 | 届出者 ※(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|------|-------------|-----------------|-------------------|---|-------|-----|------------------------|
| 244 | 上小阪 | 野口淳一 | 鉄骨造 3階建住宅 | 東上小阪620-5 | 発掘調査 | 市教委 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 245 | 五合田 | 田中啓貞 | 鉄骨造 2階建住宅 | 末広町931-3 | 〃 | 〃 | GL-90cmで弥生時代中期の包含層検出 |
| 246 | 北島池 | 市長北川謙次 | 長門川改修工事 | 下六万寺町 3丁目1213 | 〃 | 〃 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 247 | 衣摺 | 高山周二郎 | 鉄骨造2階建 工場・自宅 | 衣摺5丁目88-4 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 248 | 瓜生堂 | 栗山忠信 | S造3階建住宅 | 下小阪 4丁目308-1 | 〃 | 〃 | GL-118cmで奈良～平安時代の包含層検出 |
| 249 | 鬼塚 | 東大阪市水道 企業管理者 | 公共水道工事 | 箱殿町458番地 ～538番地 | 〃 | 〃 | GL-58cmで弥生時代の包含層を検出 |
| 250 | 中垣内 | 高岡清吉 | 鉄骨構造 2階建住宅 | 高根寺町288-4、 283-3、286-1の一部、 287-4、1の一部 | 〃 | 〃 | GL-288cmで古墳時代中期の包含層検出 |
| 251 | 芝坊主山 | 中井工務店(株) | 木造2階建 車庫付住宅 | 東石切町6丁目 1711-16 | 〃 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 252 | 鬼塚 | 中西由尚 | 木造2階建住宅 | 立花町157-4、 69-3の一部 | 立合い調査 | 〃 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 253 | 西堤 | 西村計二 | 鉄骨造2階建 事務所作業場 | 西堤本通東 3-22-1、3-21-1 | 発掘調査 | 〃 | 〃 |
| 254 | 植附 | 西川隆夫 | 鉄骨造3階建 共同住宅 | 西石切町 3丁目99 | 立合い調査 | 〃 | GL-66cmで鎌倉時代の包含層を検出 |
| 255 | 弥刀 | 東大阪市水道 企業管理者 | 公共上水道工事 | 友井1丁目 64-49 | 発掘調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 256 | 〃 | 〃 | 〃 | 友井1丁目49～ 近江堂1丁目267 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 257 | 芝坊主山 | 中井工務店(株) | 木造(地下B1) 2階建住宅 | 東石切町6丁目 1711-11、-15 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 258 | 神並 古墳群 | 河内谷久吉 | S造2階建住宅 | 上石切町1丁目 1186-3 | 〃 | 〃 | 〃 |
| *259 | 衣摺 | 高根道信 | 建築工事 | 衣摺3丁目 104-5 | 試掘調査 | 〃 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| *260 | みかん山 古墳群 | 平田高正 | 建築工事 (住宅新築) | 豊浦町1142-10 | 〃 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 261 | 皿池 | 松本正道 | 木造2階建住宅 | 喜里川町324-24 | 発掘調査 | 〃 | GL-75cmで古墳時代の包含層検出 |
| 262 | 若江 | 小山作二 | 鉄骨造 3階建住宅 | 若江南 2丁目73-3 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 263 | 花草山 古墳群 | 西尾邦勝 | 木造2階建住宅 | 上四条町1218 | 〃 | 〃 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 264 | 若江 | 春木悟 | 鉄骨造 3階建住宅 | 若江本町 4丁目540-19 | 〃 | 〃 | GL-40cmで室町時代の包含層検出 |
| 265 | 芝坊主山 | 中井工務店(株) | 木造2階建 車庫付住宅 | 東石切町6丁目 1709の一部 | 〃 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 266 | 神並 古墳群 | 白岩賢治 | 木造2階建住宅 | 上石切町1丁目 1209-13、1209-90 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 267 | 西岩田 | 関西電力(株) | 地中電線 路管理設 | 西岩田3丁目-新家(府道 大阪中央環状線歩道部) | 〃 | 〃 | 調査実施中 |
| 268 | 菱江寺 | 野村利彦 | 木造2階建住宅 | 菱江104 | 〃 | 〃 | 堀削の深さに遺構・遺物なし |
| 269 | 水走 | 伊田義則 | 鉄骨造2階建 倉庫・事務所 | 水走229-2番地の一部 (360街区S符号)一部 | 立合い調査 | 〃 | 〃 |
| 270 | 小若江 | 山本雄一 | 鉄骨造 3階建住宅 | 小若江 3丁目117-27 | 発掘調査 | 〃 | 〃 |

| No | 遺跡名 | 届出者 ※(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|----------|---------|-----------------|-----------------------|------------------------------|-------|-----|----------------------------|
| 271 | 出雲井古墳群 | ダイニチ興産(株) | 1階RC2.3階 木造車庫付住宅 | 喜里川町33-3 | 立合い調査 | 市教委 | 遺構・遺物検出せず |
| 272 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 273 | 〃 | 山本温子 | 木造2階建住宅 | 出雲井本町95-4 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 274 | 瓜生堂 | 家森康之 | S造1階建店舗 | 瓜生堂 1丁目982-5 | 発掘調査 | 〃 | |
| 275 | 上小阪若江北 | 東大阪市水道 企業管理者 | 公共上水道 配水管工事 | 若江西新町4丁目4、同4丁目21 | 〃 | 〃 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 276 | 若江 | 岡本幸康 | 鉄骨造 2階建住宅 | 若江北町、 3丁目881-2 | 〃 | 〃 | G L-25cmで中世の包含層検出 |
| 277 | 岩滝山 | (株)日興建設 | 木造2階建住宅 (一部RC造) | 六万寺町1丁目 797-3 | 〃 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 278 | 衣摺 | 高根道信 | S造3階建住宅 (1階ガレージ) | 衣摺 3丁目104-5 | 〃 | 〃 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 279 | 西岩田 | 日新日産 モーター(株) | S造2階建店舗 | 西岩田4丁目 151-4 | 慎重に実施 | — | — |
| 280 | 瓜生堂 | 中島正和 | 木造2階建住宅 | 若江西新町 3丁目3-24 | 立合い調査 | 市教委 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 281 | 久宝寺 | 立岡産業(株) | 1階鉄骨2・3 階木造住宅 | 大蓬東5丁目 230-6 | 発掘調査 | 〃 | 〃 |
| ※ 282 | (遺跡外) | 西岡好子 | 4階建店舗付共 同住宅建築工事 | 昭和町1-3 | 試掘調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 283 | 額田寺跡 | 東大阪市水道 企業管理者 | 配水管 仮移設工事 | 東山町709~702 | 発掘調査 | 〃 | 〃 |
| 284 | 弥刀 | 辻本文雄 | 木造2階建住宅 | 友井1丁目72-6 | 〃 | 〃 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 285 | 水走 | 巽日吉 | 木造2階建住宅 | 水走1143-1 | 立合い調査 | 〃 | |
| 286 | みかん山古墳群 | 堀崎正雄 | 宅地造成工事(鉄 筋コンクリート造) | 山手町604 | 試掘調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 287 | 鬼塚 | 日昭興産(株) | S造4階建 共同住宅 | 箱殿町269-8 | 発掘調査 | 〃 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 288 | 西堤 | 高橋建築(株) | 鉄骨造2階建 事務所・倉庫 | 長田 1308~10番地 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 289 | 水走 | 吉村寿兼 | RC造7階建 マンション | 吉田船場63-1、-3 | 〃 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 290 | 五合田 | (株)林工務店 | 木造2階建住宅 | 末広町926 | 〃 | 〃 | |
| ※ 291 | (遺跡外) | 定井美代子 | 3階建 マンション | 池之端 ²⁷⁰ 271 | 試掘調査 | 〃 | G L-160cmまでには遺構・遺物 検出せず |
| 292 | 芝山古墳 | 宇佐美博 | 木造2階建住宅 | 東石切町 6丁目197 | 発掘調査 | 〃 | |
| 293 | 佐堂 | 山口日出男 | 木造2階建住宅 | 金岡3丁目 236-3-4 | 立合い調査 | 〃 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 294 | 若江 | 湯浅衛 | 鉄骨造 3階建住宅 | 若江南 2丁目48-10 | 発掘調査 | 〃 | G L-117cmで中世包含層検出 |
| ※ 295 | (遺跡外) | 北田安太郎 | 2階建貨工場 新築工事 | 水走561(仮換地 118街区2符号) | 試掘調査 | 〃 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 296 | 瓢箪山古墳 | 安多建一 | 鉄骨造3階建 店舗付共同住宅 | 瓢箪山 ⁹¹⁻¹⁶ 91-9 | 発掘調査 | 〃 | G L-85cmで円筒埴輪を含む包含 層検出 |
| 297 | 佐堂 | 近藤互男 | 鉄骨造 3階建住宅 | 金岡3丁目 192-25 | 立合い調査 | 〃 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |

| No | 遺跡名 | 届出者 ※(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|------|--------|-----------------|--------------------|---------------------------|-------|-----|----------------------|
| 298 | 花草山古墳群 | 西尾邦勝 | 木造2階建 1部RC造住宅 | 上四条町1213-1 | 発掘調査 | 市教委 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 299 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 300 | 出雲井古墳群 | 日暮健 | 鉄骨2階建住宅 | 出雲井町73-1 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 301 | 久宝寺 | (株)司ハウス | 1階鉄骨2、3 階木造住宅 | 大蓮東5丁目 230-1 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 302 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 303 | 瓜生堂 | 東大阪市 下水道管理者 | 公共下水道管 きよ築造工事 | 若江西新町 1丁目 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 304 | 芝ヶ丘 | (株)サンライズ ホーム | 木造2階建住宅 | 北石切町 1912の一部 | 〃 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 305 | 久宝寺 | 片倉一男 | 鉄骨造 3階建住宅 | 大蓮南1丁目 376-10 | 〃 | 〃 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 306 | 瓜生堂 | 筒井正暁 | 鉄骨造6階建 共同住宅 | 下小阪4丁目 298-4 | 〃 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| *307 | 西ノ辻 | 櫻井義男 | 土地売買 | 弥生町1289-2 | 試掘調査 | 〃 | GL-158cmで古墳時代の包含層を検出 |
| 308 | 久宝寺 | 石井征二郎 | 鉄骨造 3階建住宅 | 大蓮東4丁目 178-15、-25 | 立合い調査 | 〃 | |
| 309 | 稲葉 | 南野寛 | 木造平屋倉庫 | 吉田2丁目137-3 | 慎重に実施 | — | — |
| 310 | 山畑古墳群 | 宝田久太郎 | RC造2階建 共同住宅 | 上四条町377 376-4 | 発掘調査 | 市教委 | GL-35cmで古墳時代後期の包含層検出 |
| 311 | 神並 | 清水美夫 | 木造2階建住宅 | 東石切町2丁目 971-2 | 立合い調査 | 〃 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 312 | 瓜生堂 | 中谷秀夫 | 木造2階建 共同住宅 | 若江西新町 2丁目16-7 | 〃 | 〃 | |
| 313 | (遺跡外) | 中野弥太郎 | 建築工事 | 花園本町 1丁目1034-2 | 試掘調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 314 | 花草山古墳群 | 小野利忠 | 鉄骨造2階建 共同住宅 | 上四条町1263、1266、 1265の一部 | 発掘調査 | 〃 | 調査について協議中 |
| *315 | (遺跡外) | 積水ハウス(株) | 建築工事 (共同住宅14階) | 下小阪1丁目 539-1 | 試掘調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 316 | 水走 | 西垣毘瑠(株) | RC造5階建 共同住宅 | 水走278-1他 | 発掘調査 | 〃 | 〃 |
| 317 | 薬師寺跡 | 吉田征成 | S造3階建 住宅・工場 | 御厨北ノ町61-1 61-3 | 〃 | 〃 | |
| 318 | 玉串 | 池田祐昭 | 木造(1部RC 造)3階建住宅 | 玉串3丁目 1137-8 | 立合い調査 | 〃 | |
| 319 | 鬼虎川 | 太陽機械商事(株) | 建築工事 | 西石切町5丁目 187-3、4、5 | 発掘調査 | 〃 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 320 | 鬼虎川 | 別所建築 設計事務所 | 鉄骨1階建 給油所 | 西石切町 7丁目191-1 | 〃 | 〃 | |
| 321 | 若江 | 市長北川謙次 | 公共下水道工事 | 若江北町 2丁目地内 | 〃 | 〃 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 322 | 稲葉 | 酒井弘志 | S造3階建住宅 | 吉田2丁目 137-20、-21 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 323 | 花草山古墳群 | 野田廣 | 木造2階建住宅 | 上四条町1252、 1243の一部 | 立合い調査 | 〃 | 〃 |
| 324 | 神並 | 東大阪市水道 企業管現者 | 公共下水道管 埋設工事 | 西石切町1丁目 18-45 | 発掘調査 | 〃 | 〃 |

| No | 遺跡名 | 届出者 ※(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|-------------------|----------------------|--------------------------|------------------------|--------------------------------|-------|-----|---------------------------|
| 325 | 山 賀 | 小 林 政 男 | S造2階建 住宅車庫付 | 若江西新町5丁目 161-9,161-10 | 発掘調査 | 市教委 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 326 | 鬼 塚 | (有) シ オ ン | S造3階建 共同住宅 | 新町290-4 | 〃 | 〃 | GL-100cmで古墳時代後期の包 含層検出 |
| 327 | 菱江寺跡 | 福 島 電 業 (株) | RC造4階建 事務所 | 菱江443-1 | 〃 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 328 | 花草山 古墳群 | 双 葉 住 宅 (株) | 木造2階建住宅 | 上四条町1202-37 | 立合い調査 | 〃 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 329 | 鬼虎川 | 朝 田 博 子 | 木造2階建住宅 | 宝町1702-9,1703 -4,1703-56番地 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 330 | 北鳥池 | 河 角 清 | 鉄骨造 3階建住宅 | 末広町 910-16番地 | 発掘調査 | 〃 | 〃 |
| 331 | 植 附 | 村尾石油販売所 | タンク埋設工事 | 西石切町 1丁目9-8 | 〃 | 〃 | GL-108cmで中世の遺構を検出 |
| 332 | 馬場川 | 北 岸 昭 夫 | 鉄骨2階建 倉庫付事務所 | 横小路町 4丁目207-5 | 〃 | 〃 | |
| 333 | 水 走 | 高 田 ス エ ノ | 鉄骨造2階建 共同住宅 | 水走1265-5、 1278-1 | 〃 | 〃 | |
| * 334 (遺跡外) | 大 阪 府 住 宅 供 給 会 社 | 東大阪市計画事業 中部土地区画整理事業 | 菱江一吉田船場 275街区他5街区 | 試掘調査 | 〃 | 〃 | S 63、4、中甸試掘調査を実施予定 |
| 335 | 馬 場 | タカドノ興産(株) | 木造2階建住宅 (地下ガレージ) | 日下町2丁目 1444-6 | 発掘調査 | 〃 | |
| 336 | 花草山 古墳群 | 小 野 利 忠 | 鉄骨造2階建 共同住宅 | 上四条町1268 -1-2番地 | 〃 | 〃 | 調査について協議中 |
| 337 | 〃 | 〃 | 〃 | 上四条町 1,267番地 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 338 | 水 走 | 昭 和 織 維 (株) | RC造7階建 倉庫共同住宅 | 中新開 320-1番地 | 〃 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 339 | 出雲井 古墳群 | ダイニチ興産(株) | RC木造 3階建住宅 | 喜里川町 33-3番地 | 立合い調査 | 〃 | 〃 |
| 340 | みかん山 古墳群 | 北 口 一 康 | 木造2階建住宅 | 東豊浦町 1142-4番地 | 発掘調査 | 〃 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 341 | 芝坊主山 | 中 井 工 務 店 | 工作物の築造 | 東石切町6丁目 1709-7他 | 〃 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 342 | 五合田 | 城 戸 産 業 (株) | 木造2階建住宅 | 御幸町 727-51番地 | 立合い調査 | 〃 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| * 343 | 神 並 | (株)リクルートコ スモス大阪支社 | 共同住宅 | 西石切町 1丁目395番地 | 試掘調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 344 | 西ノ辻 | 山 田 秀 夫 | 木造2階建住宅 | 南荘町1776番地 | 立合い調査 | 〃 | 堀削の深さには遺構・遺物なし |
| 345 | 神 並 | 中 川 忠 士 | S造2階建住宅 | 西石切町1丁目 758-12番地 | 発掘調査 | 〃 | GL-80cmで奈良時代包含層検出 |
| 346 | 鬼 塚 | 米 倉 健 司 | RC造 2階建住宅 | 南荘町796-2、 485-2,464-8 | 〃 | 〃 | GL-25cmで古墳時代の包含層を 検出 |
| * 347 (遺跡外) | 藤 原 秀 正 | 土木建築工事 | 吉田島之内10-2 11-2,12-2 | 試掘調査 | 〃 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| * 348 | 〃 | 山 村 政 次 | 〃 | 旭町502-1,502- 2,503-1,503-10 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 349 | 北屋敷 | 山 本 栄 次 | 鉄筋コンクリート 造7階建共同住宅 | 横小路町 4丁目185 | 発掘調査 | 〃 | |
| 350 | 鬼虎川 | (株)サンライ ズホーム | RC造6階建 事務所店舗 | 西石切町 5丁目521-1 | 〃 | 〃 | 調査について協議中 |
| 351 | 衣 摺 | 関 西 電 力 (株) 大 阪 南 (支) | 電気工事 | 衣摺5丁目地先 | 立合い調査 | 〃 | |

| No | 遺跡名 | 届出者 ※(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|---------------|--------|----------------------|----------------|---------------------|-------|-----|------------------------|
| 352 | 小若江 | (学) 近畿大学 | 棟(文芸学部)建設 | 小若江3丁目4-1 | 発掘調査 | 市教委 | G L -93cmで中世包含層、遺構を検出 |
| 353 | 神 並 | 大 田 正 明 | 鉄骨造2階建共同住宅 | 西石切町1丁目-789 | 〃 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| *354 (遺跡外) | | 月 山 マ ス ・ 月 山 安 夫 | 土木建築工事 | 花園西町1丁目312番1 | 試掘調査 | 〃 | |
| 355 | 出雲井古墳群 | 増 田 正 次 | (車庫付) 鉄骨造3階建住宅 | 出雲井本町435 | 発掘調査 | 〃 | |
| 356 | 若 江 | 市長 北川 謙次 | 公共下水道工事 | 瓜生堂2丁目地内 | 〃 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 357 | 〃 | 〃 | 〃 | 若江本町4丁目 | 〃 | 〃 | G L -30cmで中世包含層検出 |
| 358 | 岩 田 | 〃 | 〃 | 岩田町5丁目6丁目地内 | 〃 | 〃 | |
| 359 | 若 江 | 前 田 祥 子 | R C 造3階建住宅 | 若江北町3丁目52-1,52-2 | 〃 | 〃 | |
| 360 | 岩 田 | 東大阪市水道企業管理者 | 公共上水道工事 | 岩田町6丁目622 | 立合い調査 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 361 | 額田山古墳群 | ニッシンハウス(株) | 木造2階建住宅 | 山手町2141-1 | 発掘調査 | 〃 | |
| *362 (遺跡外) | | 尾 西 幸 信 | | 上四条町2038 | 試掘調査 | 〃 | G L -50cmで弥生時代中期包含層を検出 |
| 363 | 水 走 | 橋 本 覚 | R C 造3階建共同住宅 | 吉田船場50-1 | 発掘調査 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 364 | 出雲井古墳群 | 浦 上 幸 夫 | 木造2階建住宅 | 東豊浦町867-10,12,13,15 | 〃 | 〃 | |
| 365 | コモ田 | 市長 北川 謙次 | 公共下水道工事 | 下六万寺町2丁目地内 | 〃 | 〃 | G L -74cmで弥生土器 少量出土 |
| 366 | 鶴 立 | 元 田 洋 文 | R C 木造3階建住宅 | 鷹殿町80-35 | 慎重に実施 | — | — |
| 367 | 西 代 | 岡 村 國 継 | 軽量鉄骨造2階建共同住宅 | 横小路町4丁目763-1,764-1 | 発掘調査 | 市教委 | 掘削の深さには遺物・遺構なし |
| 368 | 水 走 | デンサン工業(株) | 倉庫建設 | 水走2000-2 | 〃 | 〃 | 〃 |
| *369 (遺跡外) | | 東 繁 太 郎 | 駐車場建築工事 | 長田西4丁目62・63 | 試掘調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 370 | 弧 塚 | 東 大 阪 市 水道企業管理者 | 公共上水道工事 | 鳥居町374~358 | 立合い調査 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 371 | 芝ヶ丘 | 旭 永 建 設 (株) | 木造2階建住宅 | 北石切町1978-1 | 〃 | 〃 | |
| 372 | 弥 刀 | 天 國 (株) | 木造2階建住宅 | 近江堂2丁目180-6 | 〃 | 〃 | |
| 373 | 水 走 | 民 野 保 | 鉄骨造3階建共同住宅 | 中新開248-1 | 発掘調査 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 374 | 鬼 塚 | 岡 島 晃 | 鉄骨3階建住宅 | 新町291-4 | 〃 | 〃 | G L -149cmで弥生時代中期包含層検出 |
| 375 | 上六万寺 | 近畿建設工業所 | 住宅基礎工事 | 上六万寺町1405-5 | 〃 | 〃 | |
| 376 | 上小阪若江北 | 市長 北川 謙次 | 公共下水道工事 | 若江西新町4丁目地内 | 〃 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 377 | 上小阪 | 拓 商 (株) | 鉄骨造2階建共同住宅 | 若江西新町4丁目6-2,7-2 | 立合い調査 | 〃 | |
| 378 | コモ田 | 東 大 阪 市 水道企業管理者 | 公共上水道工事 | 六万寺町2-62,-61 | 〃 | 〃 | |

| No | 遺跡名 | 届出者 ※(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|---------------|--------------------|----------------|-------------------|---------------------------------|-------|-----|---|
| 379 | 若江 | 植田修二 | 鉄骨3階建住宅 | 若江南1丁目 572-4 | 発掘調査 | 市教委 | G L -35cm で中世の包含層検出 |
| 380 | 下六万寺 | 木村順治 | 建築工事 | 下六万寺町 3丁目1172-2 | 〃 | 〃 | G L -55cm で古墳時代後期の包含層検出 |
| 381 | 芝ヶ丘 | 旭永建設(株) | 木造2階建住宅 | 北石切町1978-1 | 立合い調査 | 〃 | |
| 382 | 客坊山古墳群 | 日昭興産(株) | 土木建築工事 | 客坊町1064~ 1071 | 発掘調査 | 〃 | S .63.5中甸より調査予定 |
| 383 | 水走 | 櫛部弘明 | 鉄骨造2階建住宅 | 吉田船場44-2 | 慎重に実施 | — | — |
| 384 | 水走 | 大西木管(株) | S造2階建住宅 | 水走316-5 | 立合い調査 | 市教委 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| *385 (遺跡外) | | 長谷工都市 開発(株) | 建築工事 | 森河内東2丁目 5-1、5-2 | 試掘調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 386 | 若江 | 東大阪市 教育委員会 | 屋運動場 増改築工事 | 若江南2丁目 9-54 | 発掘調査 | 〃 | G L -80cm で鎌倉時代の包含層を 検出 |
| 387 | 辻子谷 | 後藤昭子 | R C造3階建 共同住宅 | 中石切町2丁目 251-1 | 〃 | 〃 | G L -110cm で古墳時代の包含層、 弥生時代後期包含層遺構を検出 |
| 388 | 花草山古墳群 | 兼久恵 | 木造R C造 2階建住宅 | 上四条町1213-7 | 慎重に実施 | — | — |
| 389 | 花草山古墳群 | 岡崎未義 | 木造2階建住宅 | 上四条町1145 番地 | 立合い調査 | 市教委 | 遺構・遺物検出せず |
| 390 | 若江 | 石山康一 | 木造2階建住宅 | 若江北町3丁目 892番地 | 〃 | 〃 | |
| 391 | 稲葉 | 市長北川謙次 | 公共排水管布設 水路改修工事 | 菱江37番地先他 | 発掘調査 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 392 | 稲葉 | 市長北川謙次 | 公共道路築造 排水管布設 | 吉田春日 151~154番地先 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 393 | 佐堂 | 中谷興三郎 | 鉄骨平家貨倉庫 5棟 | 大蓮東4丁目 41-1 | 立合い調査 | 〃 | |
| 394 | 瓜生堂・若江 若江北・巨摩観寺 | 市長北川謙次 | 公共下水道工事 | 若江北町2~ 3丁目 | 発掘調査 | 〃 | |
| 395 | 池島 | 駄場元幸恵 | 鉄骨造2階建工場 | 玉串町東3丁目157- 7,160-2,-3,161-3 | 〃 | 〃 | |
| 396 | 巨摩観寺 | 福井匡 | 木造2階建住宅 | 若江北町3丁目 769 | 〃 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 397 | 北島池 | 山田工務店(株) | 鉄骨造 7階建共同住宅 | 若草町1245-1 | 〃 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 398 | 西ノ辻 | 中西章三子 | 軽量 鉄骨造2階建住宅 | 南莊町1601~5,16 01~8,1601~10 | 立合い調査 | 〃 | |
| *399 | 夫婦塚古墳 | 富士住建(株) | 建築工事 | 東石切町1104 外5筆 | 試掘調査 | 〃 | 鎌倉時代の遺構検出 |
| 400 | 皿池 | 前田米造 | 木造2階建住宅 | 河内町674-3 | 発掘調査 | 〃 | |
| 401 | 若宮古墳群 | 中場典子 | 〃 | 東石切町2丁目 1099-8 | 立合い調査 | 〃 | |
| 402 | 千手寺山 | 吉村逸雄 | 〃 | 東石切町4丁目 1638-27 | 〃 | 〃 | |
| *403 (遺跡外) | | 寺西孝 | 建築工事 | 西石切町4丁目 558-1 | 試掘調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 404 | 岩田 | 市長北川謙次 | 火葬場増築 | 岩田町5丁目 652 | 発掘調査 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| *405 (遺跡外) | | 倉橋松治郎 | 建築工事 | 東石切町5丁目 312 | 試掘調査 | 〃 | 〃 |

| No | 遺跡名 | 届出者 ※(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|---------------|---------|--------------------|-------------|-----------------------|-------|-----|-----------------------|
| 406 | 芝ヶ丘 | 池田 栄 | 木造2階建住宅 | 北石切町1790-44 | 立合い調査 | 市教委 | |
| ※407 | 若江 | 市長 北川 謙次 | 屋内運動場建設 | 若江南町2丁目9-54 | 試掘調査 | 〃 | G L -70cmで中世包含層検出 |
| ※408 | みかん山古墳群 | 中川 熊 蔵 | 建築工事 | 東豊浦町1131-1 | 〃 | 〃 | 古墳時代後期の横穴式石室が点在するのを確認 |
| 409 | 日下 | 出口 昭 二 | 木造2階建基礎建築 | 日下町6丁目766-1の1部 | 立合い調査 | 〃 | |
| 410 | 水走 | ベル玩菓(株) | 6階建事務所車庫付倉庫 | 水走326-4 | 発掘調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 411 | 玉串 | 板倉 章 | 鉄骨2階建共同住宅 | 玉串町西3丁目1137-7 | 立合い調査 | 〃 | |
| 412 | 芝ヶ丘 | 旭永建設(株) | 木造2F建住宅 | 北石切町1978-1 | 発掘調査 | 〃 | |
| 413 | 稲葉 | 大阪府建築部 営繕室長 | 建設工事 | 稲葉2丁目61番地 | 立合い調査 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 414 | 鬼塚 | 寺脇工務店 | 建設工事 | 南荘町8-30番地 | 発掘調査 | 〃 | 〃 |
| 415 | 瓜生堂 | 太田工務店 | 鉄骨3階建車庫付住宅 | 下小阪4丁目310-8番地 | 〃 | 〃 | |
| 416 | 久宝寺 | (株)ウエムラホーム | 鉄骨3階建長屋住宅 | 大蓮東5丁目230-23番地 | 〃 | 〃 | 掘削の深さには遺跡・遺物なし |
| 417 | 山畑古墳群 | 今井 清 | 専用住宅の建替 | 上四条町2021-3番地 | 〃 | 〃 | |
| 418 | 客坊山古墳群 | 鈴屋工務店(株) | 木造2階建住宅建築 | 客坊町726-12-14番地 | 〃 | 〃 | |
| ※419 (遺跡外) | | 柴田 正 雄 | 共同住宅 | 南上小阪541-1、3、542-1.3番地 | 試掘調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| ※420 | 西堤 | 学校法人村上学園 | 建築工事 | 西堤学園町3-1番地 | 〃 | 〃 | |
| 421 | 西岩田 | 南野タマエ | 鉄骨1階倉庫建設 | 西岩田4丁目76、77-1、77-2 | 発掘調査 | 〃 | |
| 422 | 稲葉 | 金 在 涉 | 鉄骨3階建住宅 | 吉田春日153-1番地 | 〃 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 423 | 上小阪山賀 | 近畿大学 | 下水道施設築造及び埋設 | 若江西新町5丁目121-1 | 〃 | 〃 | 古墳時代前期の遺物包含層、遺構を検出 |
| 424 | 馬場川 | 渡辺貴己夫 | 鉄骨造2階建住宅 | 横小路町4丁目751-1 | 〃 | 〃 | |
| 425 | 鬼塚 | 倉橋 八 郎 | 鉄骨3階建ビル | 箱殿町493-1 | 〃 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 426 | 芝ヶ丘 | 旭永建設(株) | 木造2階建住宅 | 北石切町1978-1 | 立合い調査 | 〃 | |
| 427 | コモ田 | 大阪ガス(株) 東部導管事業所 | ガス支管仮移設工事 | 下六万寺町2丁目2-37 | 慎重に実施 | — | — |
| 428 | 鬼塚 | 合同鉄線(株) | 木造2階建住宅 | 南荘町124-1 | 発掘調査 | 市教委 | |
| 429 | 和泉 | 山本 九 一 | 鉄骨造平屋建工場 | 中石切町6丁目2924-1 | 立合い調査 | 〃 | |
| ※430 (遺跡外) | | 田 中 武 | 共同住宅 | 俊徳3丁目5-1 | 試掘調査 | 〃 | |
| 431 | 芝ヶ丘 | (株)サンライズホーム | 分譲住宅 | 北石切町1912の一部 | 発掘調査 | 〃 | |
| 432 | 〃 | (株)秋田工務店 | 木造2階建住宅 | 北石切町2243 | 〃 | 〃 | |

| No | 遺跡名 | 届出者 ※(依頼者) | 届出の工事 | 調査場所 | 調査別 | 調査者 | 調査結果・所見 |
|------|-------|---------------|--------------------|---------------------|-------|-----|--------------------------|
| 433 | 岩田 | (株)ハウジング山口 | 鉄骨造3階建住宅 | 岩田町5丁目605-33 | 発掘調査 | 市教委 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 434 | 岩滝山 | (株)日興建設 | 住宅地造成工事 | 上六万寺町1502-3,4,13 | 〃 | 〃 | |
| 435 | 山畑古墳群 | (株)城戸産業 | 木造2階建住宅 | 瓢箪山町47-8、47-2 | 立合い調査 | 〃 | |
| 436 | 上小阪 | 豊島博美 | 建築工事 | 上小阪601-8 | 発掘調査 | 〃 | |
| 437 | 意岐部 | モービル石油(株) | 鉄骨2階建ガソリンスタンド | 御厨東2丁目714-6 | 〃 | 〃 | G L -95cmで古墳時代前期の包含層検出 |
| 438 | 加美 | 河村武治 | 鉄骨2階建住宅 | 大蓮南5丁目898-30 | 立合い調査 | 〃 | |
| 439 | 瓜生堂 | 山野常造 | 〃 | 若江西新町1丁目22-1 | 発掘調査 | 〃 | 掘削の深さには遺構・遺物なし |
| 440 | 若宮古墳群 | 堀川太一 | 店舗付住宅 | 東山町1119-2、1118-2,13 | 〃 | 〃 | |
| 441 | 若江 | 東大阪市水道企業管理者 | 配水管布設工事 | 若江北町925~926 | 立合い調査 | 〃 | |
| *442 | (遺跡外) | 田中健治 | 貸店舗付駐車場付共同住宅 | 稲田922-1 | 試掘調査 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 443 | 千手寺山 | 小寺俊二 | RC造2階建共同住宅倉庫 | 東石切町4丁目3-10 | 発掘調査 | 〃 | |
| 444 | 水走 | 川畑勲 | 鉄骨2階建倉庫 | 吉田船場36-1 | 〃 | 〃 | |
| 445 | 植附 | 出口精一 | 鉄骨コンクリート2階建住宅 | 西石切町3丁目320 | 発掘調査 | 〃 | G L -13cmで古墳時代中期包含層、遺構検出 |
| 446 | 小若江 | 広岡勝喜 | 鉄骨造3階建住宅 | 小若江3丁目82-15 | 〃 | 〃 | |
| 447 | 水走 | 高林 亀太郎 忠 雄 | 鉄骨鉄筋コンクリート造9F建共同住宅 | 中新開261、257-4、259-1 | 〃 | 〃 | |
| *448 | (遺跡外) | 社会福祉法人 川福会 | 建築工事 | 出雲井本町336、401-1他 | 試掘調査 | 〃 | |
| *449 | 西ノ辻 | 西村政一 | 〃 | 西石切町3丁目155-1 | 〃 | 〃 | G L -126cmで弥生時代中期の包含層検出 |
| 450 | 〃 | 出口ヤスエ | 鉄骨造3階建共同住宅 | 弥生町1292-1 | 発掘調査 | 〃 | |
| *451 | (遺跡外) | 木下一雄 | 共同住宅 | 稲葉238、239 | 試掘調査 | 〃 | |
| *452 | 〃 | 山本相次郎 | 建築工事 | 稲田837-1 | 〃 | 〃 | 遺構・遺物検出せず |
| 453 | 辻子谷 | 南川賢司 | 鉄骨造2階建住宅 | 中石切町1丁目5-17 | 立合い調査 | 〃 | |
| 454 | 船山 | 菅尾光博 | 鉄骨造2階建工場 | 六万寺町2丁目375-1,-3 | 発掘調査 | 〃 | |
| 455 | 瓜生堂 | 安岡長吉 | 倉庫建設 | 若江北町1丁目45-1,-22,-23 | 慎重に実施 | — | — |
| 456 | 水走 | 大西木管(株) | 鉄骨造平家建建築 | 水走316-5の一部 | 立合い調査 | 市教委 | |

版 圖



1. 試掘調査時の状況



2. 調査地全景(北より)



1. 調査地全景(東より)



2. 石室全景(北西より)



1. 石室全景(入口側より)



2. 石室全景(奥壁側より)



1. 石室奥壁



2. 石室右側壁(部分)



1. 石室左側壁(部分)



2. 再利用時の閉塞石



1. 床面遺物出土状況



2. 床面遺物出土状況(部分)



1. 棺台および遺物出土状況(第I群)



2. 人骨検出状況(第I群)



1. 遺物出土状況(第Ⅱ群)



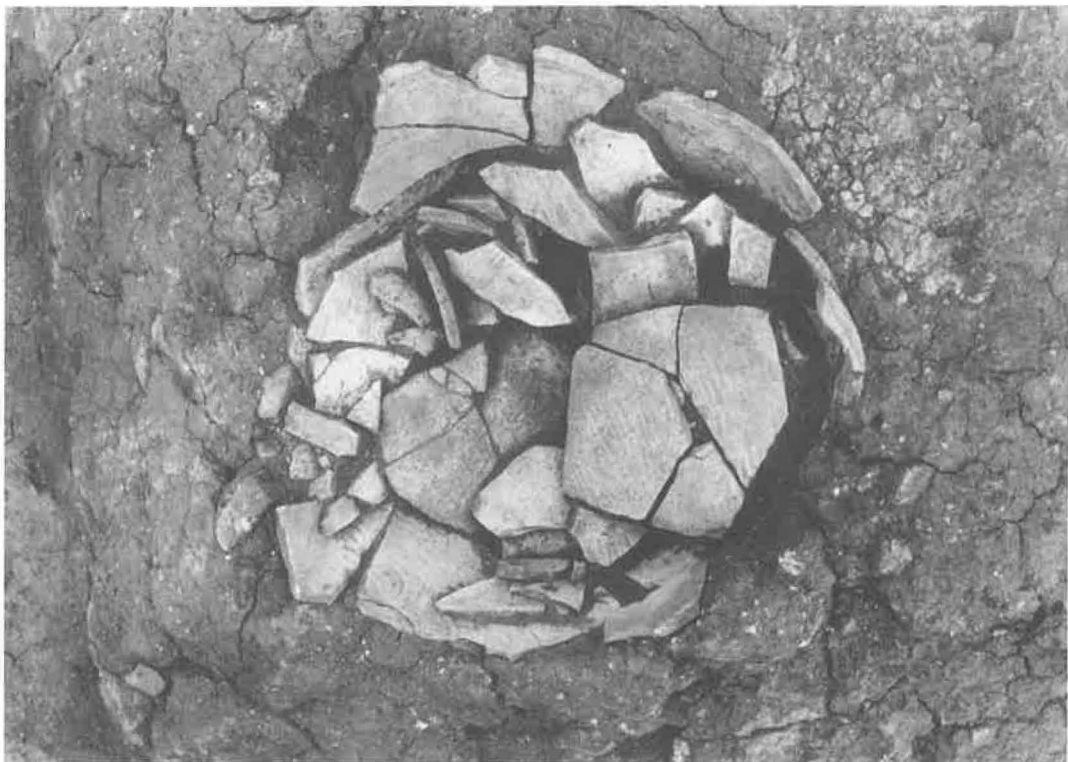
2. 遺物出土状況(第Ⅳ群)



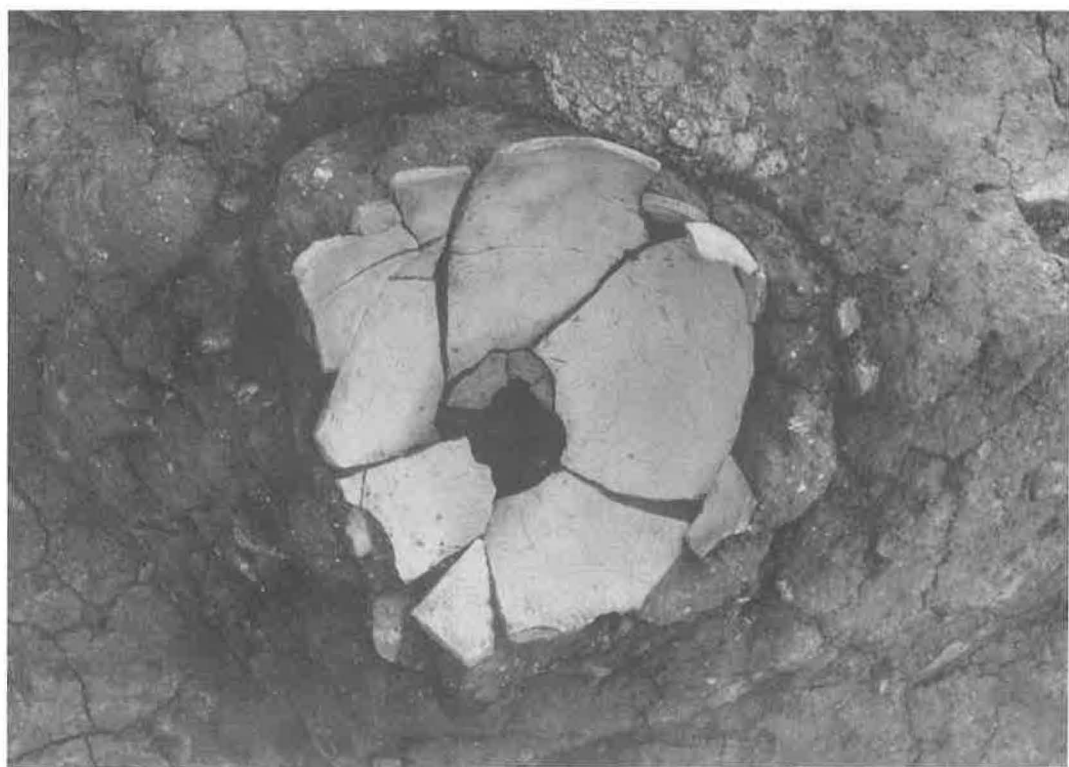
1. 再利用時の検出状況(1)



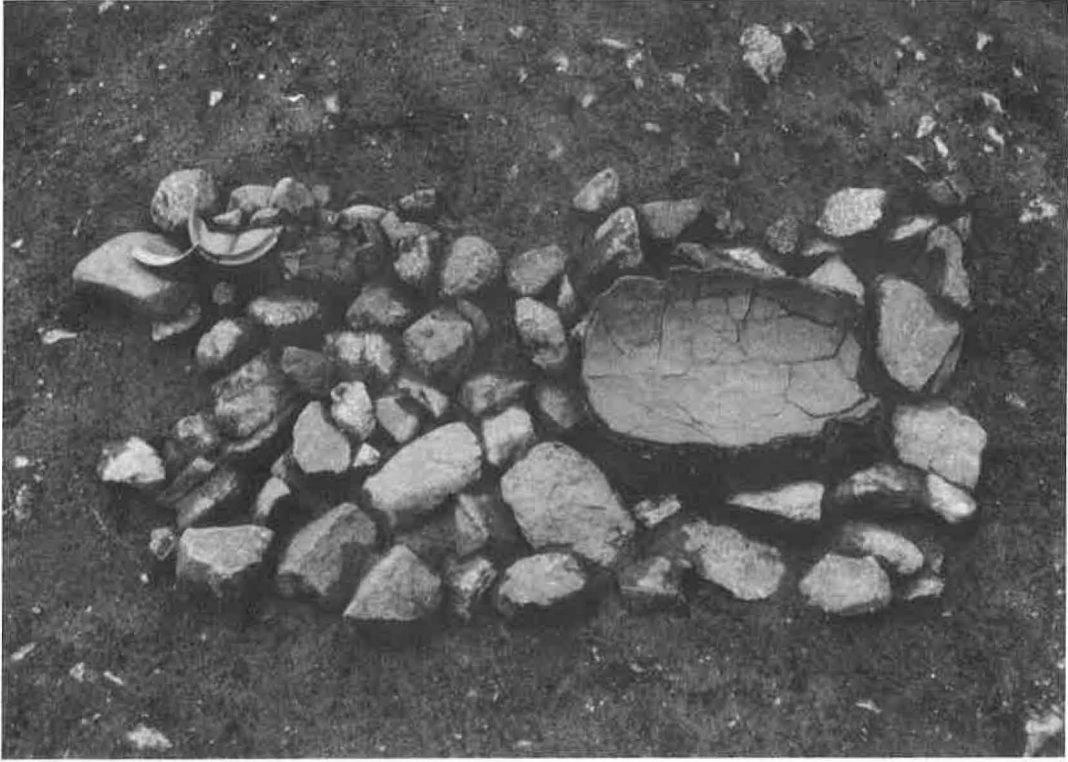
2. 再利用時の検出状況(2)



1. 甕出土状況(1)



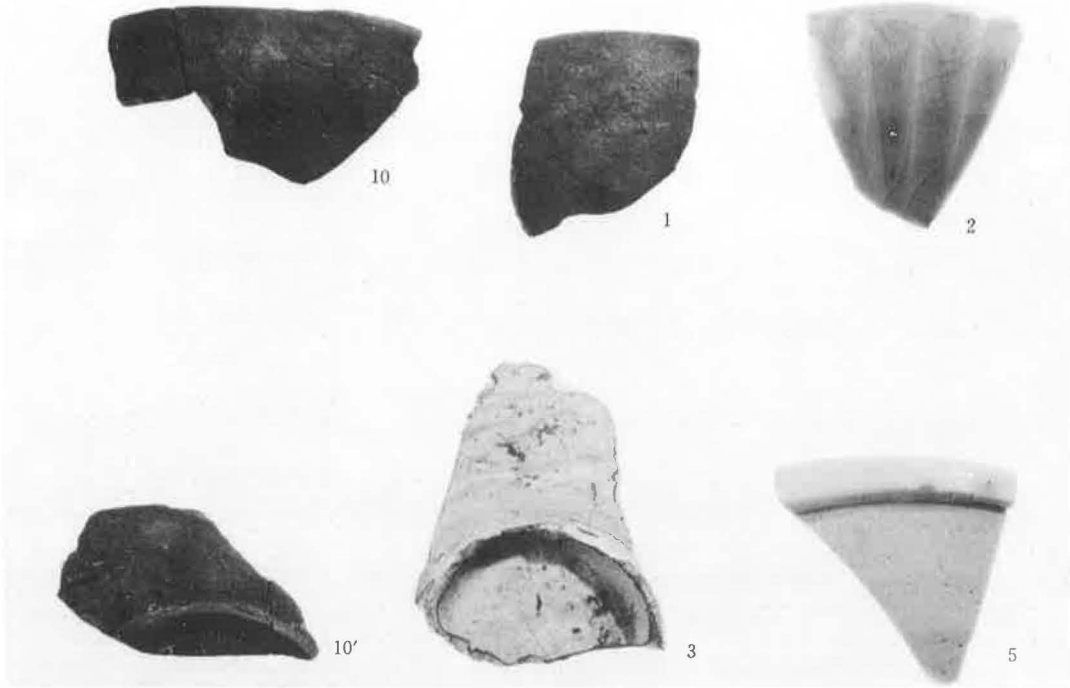
2. 甕出土状況(2)



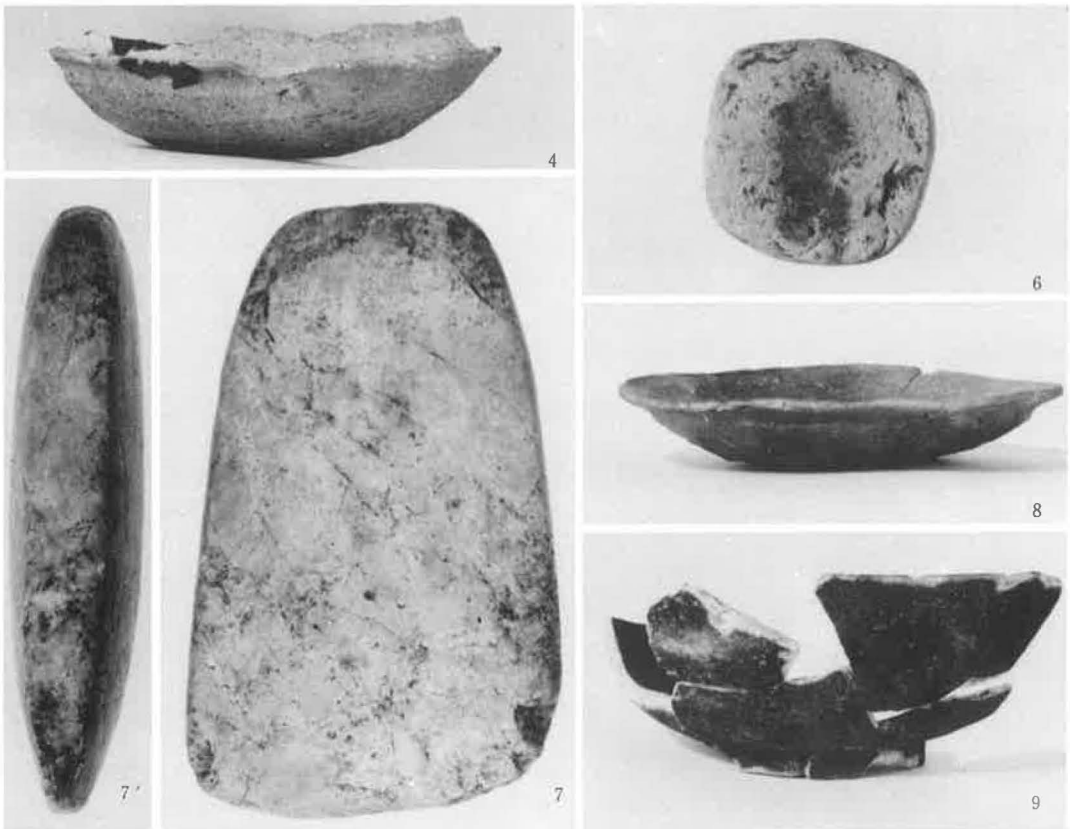
1. 遺物出土状況

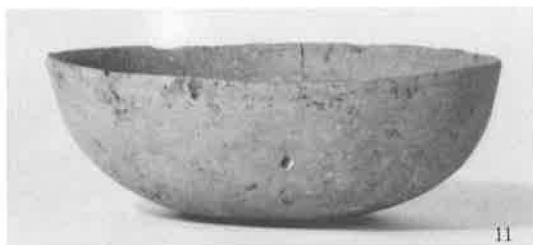


2. 敷石検出状況

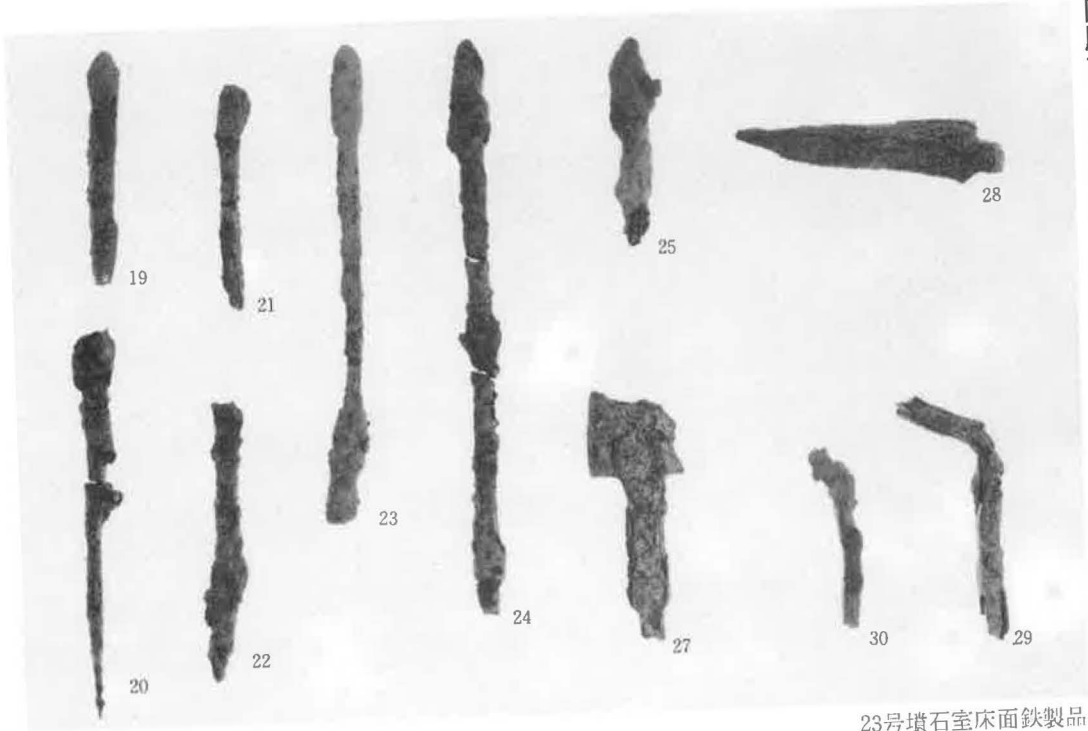


上部遺物包含層・石室上層





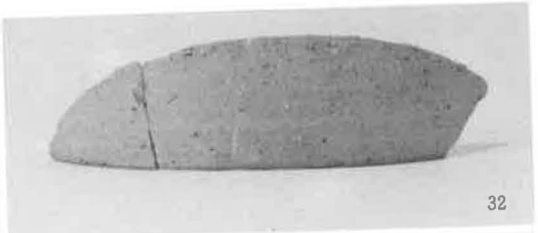
図版 14
花草山 23・24号墳 遺物



23号墳石室床面鉄製品



35



32



33



34

24号墳土器



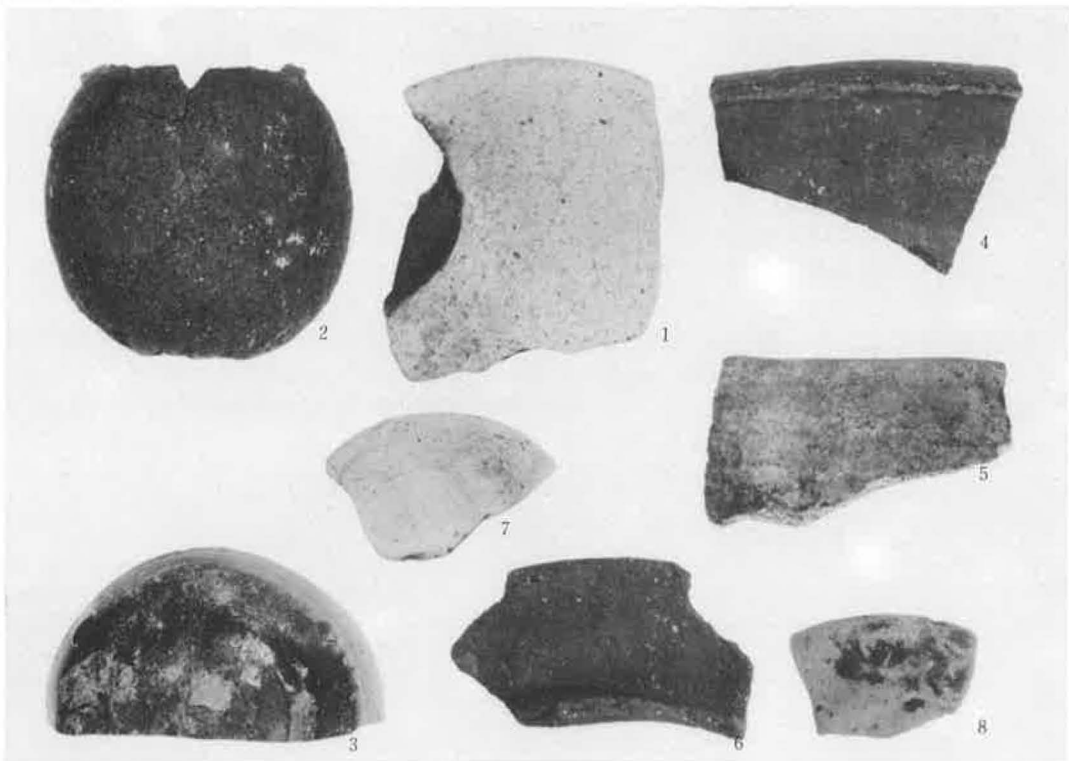
1. 調査前の状況



2. 第2層下面調査風景



1. 第3層下面全景



2. 出土遺物

東大阪市埋蔵文化財包蔵地調査概要29
東大阪市埋蔵文化財発掘調査概要
— 昭和62年度 —

昭和63年3月

発 行 東 大 阪 市 教 育 委 員 会
印 刷 近 畿 印 刷 セ ン タ ー